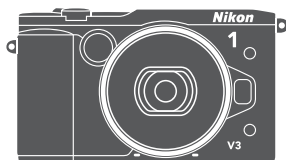


Nikon

デジタルカメラ

1 v3

使用説明書



「Nikon Manual Viewer 2」アプリ

いつでもどこでもスマートフォンやタブレットで
説明書を見ることができます。

Jp

目次

このカメラを簡単に楽しむには	iv
活用ガイドについて	vi
安全上のご注意	vii
ご確認ください	xiv
Wi-Fi（無線 LAN）機能について	xvii

はじめに 1

カメラと付属品の確認	1
各部の名称と機能	2
タッチパネルを使う	14
撮影前の準備	20
ストラップを取り付ける	20
バッテリーを充電する	20
カメラにバッテリーを入れる	21
カメラにメモリーカードを入れる	22
レンズを取り付ける	23
カメラの電源を ON にする	25
電子ビューファインダーとグリップを取り付ける	27
電子ビューファインダー	27
グリップ	30

静止画を撮影する / 再生する 32

カメラまかせで撮影する（オートモード）	32
撮影した静止画を再生する	36
画像を削除する	37
ライブコントロールで静止画を撮影する	38
シーンや効果を選んで撮影する（クリエイティブモード）	40
クリエイティブモードで選べるシーンと効果	41
[クリエイティブリング] で撮影する	42
[HDR] で撮影する	43
[かんたんパノラマ] で撮影する	44

[セレクトカラー] で撮影する	47
[クロスプロセス] で撮影する	48

動画を撮影する / 再生する 49

動画を撮影する	49
動画の撮影中に静止画を撮影する	53
撮影した動画を再生する	54
動画を削除する	55

P、S、A、M モードで撮影する 58

P プログラムオート	58
S シャッター優先オート	59
A 絞り優先オート	60
M マニュアル	61

さらに撮影を楽しむ 63

☐ ベストショットを撮影する (ベストモーメントキャプチャー)	63
残したい画像を自分で選ぶ (お気に入りフォト選択)	63
シャッターチャンス을じっくり選ぶ (スロービュー)	66
ベストショットをカメラが選ぶ (スマートフォトセクター)	68
☒ 静止画と短い動画を一緒に撮影する (モーションスナップショット)	72
撮影したモーションスナップショット画像を 確認する	75
モーションスナップショット画像を削除する	75

撮影の便利な機能

76

連写で撮影する.....	76
セルフタイマーを使って撮影する.....	78
リモコンを使って撮影する.....	80
内蔵フラッシュについて.....	82
タッチ撮影機能について.....	86
オートモードとクリエイティブモード.....	86
P、S、A、Mモード.....	86
アドバンスト動画モード.....	87

Wi-Fi を使う

88

Wi-Fi を使ってできること.....	88
カメラとスマートデバイスを接続する.....	89
WPS プッシュボタン接続でスマートデバイスと 接続する (Android OS のみ).....	90
スマートデバイスの PIN コードをカメラに入力して 接続する (Android OS のみ).....	91
カメラの SSID をスマートデバイスで選んで 接続する (Android OS/iOS).....	92
カメラからスマートデバイスに画像を送信する方法 について.....	94
表示中の画像を送信する.....	94
複数の画像をまとめて送信する.....	95

メニューを使う

97

パソコンとの接続

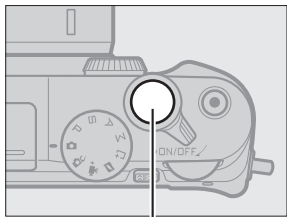
103

付属のソフトウェアをインストールする.....	103
付属のソフトウェアの動作環境.....	104
ViewNX 2 を使う.....	105
パソコンに画像を取り込む.....	105
ViewNX 2 を起動する.....	107

使用できるアクセサリ	108
推奨 microSD カード	110
カメラのお手入れについて	111
保管について	111
クリーニングについて	111
カメラとバッテリーの取り扱い上のご注意	112
カメラの取り扱い上のご注意	112
バッテリーの取り扱い上のご注意	114
チャージャーの使用上のご注意	116
メモリーカード取り扱い上のご注意	116
故障かな？と思ったら	117
電源・表示関連	117
撮影関連（全モード共通）	118
動画撮影関連	119
タッチ撮影機能関連	119
再生関連	120
Wi-Fi（無線 LAN）関連	120
その他	120
警告メッセージ	121
主な仕様	123
電池寿命について	132
索引	134
ニコンプラザのご案内	138
修理サービスのご案内	139

このカメラを簡単に楽しむには

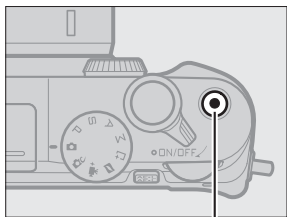
シャッターボタンで「静止画を撮る」



シャッターボタン

シャッターボタンを押すと静止画を撮影できます。撮影モードについては□7を参照してください。

動画撮影ボタンで「動画を撮る」



動画撮影ボタン

オートモード (□32)、クリエイティブモード (□40)、P、S、A、Mモード (□58)、アドバンスド動画モード (□49) で動画撮影ボタンを押すと、動画が撮影できます。

お使いになる前に、使用説明書（本書）をよくお読みにになり、内容を十分に理解してから正しくお使いください。さらに詳しい説明は、活用ガイド（□vi）をご覧ください。お読みにになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管し、撮影を楽しむためにお役立てください。

表記について

- カメラの設定が初期設定であることを前提に操作の説明を行っています。
- ご購入時に設定されている機能やメニューの設定状態を「初期設定」と表記しています。
- 主に1 NIKKOR VR 10-30mm f/3.5-5.6 PD-ZOOMのレンズを使用して、説明しています。
- microSDメモリーカード、microSDHCメモリーカード、およびmicroSDXCメモリーカードを「メモリーカード」と表記しています。
- バッテリーチャージャーを「チャージャー」と表記しています。
- ロータリーマルチセクターの上、下、左、右を、▲、▼、◀、▶と表記しています。

本文中のマークについて

この使用説明書は、次の記号を使用しています。必要な情報を探すときにご活用ください。



カメラを使用する前に注意していただきたいことや守っていただきたいことを記載しています。



カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。



関連情報が記載されているページです。

⚠ 安全上のご注意

安全にカメラをお使いいただくために守っていただきたい内容が記載されています。カメラをお使いになる前に必ず「安全上のご注意」（□vii～xviii）と「カメラとバッテリーの取り扱い上のご注意」（□112～116）をお読みにになり、記載事項をお守りください。

活用ガイドについて

カメラについてさらに詳しい説明を知りたいときは、活用ガイド（PDF形式）をご覧ください。活用ガイドは当社のホームページからダウンロードできます。ダウンロードの方法は次の通りです。

- 活用ガイドをご覧いただくためには、Adobe Reader または Adobe Acrobat Reader 5.0 以降が必要です。

1 Webブラウザでマニュアルのダウンロードページにアクセスする

URL：

<http://downloadcenter.nikonimglib.com/>

2 機種を選んで、PDF ファイルをダウンロードする



「Nikon Manual Viewer 2」アプリ

ニコンデジタルカメラの説明書をスマートフォンやタブレットで見ることができるアプリです。App StoreまたはGoogle Playから無料でダウンロードできます。

* アプリおよび使用説明書をダウンロードするには、インターネットに接続できる環境が必要です（通信料が発生します）。

安全上のご注意

お使いになる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しく使用し、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を記載しています。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

表示と意味は、次のようになっています。



危険

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例



△記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘記号は、禁止の行為（してはいけないこと）を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合はプラグをコンセントから抜く）が描かれています。

警告 (カメラとレンズについて)



分解禁止

分解したり修理や改造をしないこと

感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。



接触禁止

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと

感電したり、破損部でケガをする原因となります。



すぐに修理依頼を

電池、電源を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。



電池を取る

熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、すみやかに電池を取り出すこと

そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。



すぐに修理依頼を

電池を取り出す際、やけどに充分注意してください。
電池を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。



水かけ禁止

水につけたり、水をかけたり、雨にぬらさない

感電や発火などの事故や故障の原因になります。



使用禁止

引火・爆発のおそれのある場所では使わない

プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因になります。



使用禁止

レンズまたはカメラで直接太陽や強い光を見ないこと

失明や視力障害の原因となります。



発光禁止

車の運転者等に向けてフラッシュを発光しないこと

事故の原因となります。



発光禁止

フラッシュを人の目に近づけて発光しない

視力障害の原因になります。撮影時には、1m以上離れてください。特に乳幼児の撮影には注意してください。



保管注意

幼児の口に入る小さな付属品は、幼児の手の届くところに置かない

幼児の飲み込みの原因となります。

万一飲み込んだときは直ちに医師にご相談ください。



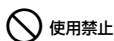
警告

ストラップが首に巻き付かないようにする

特に幼児・児童の首にストラップをかけない

首に巻き付くと窒息の原因になります。

警告 (カメラとレンズについて)



使用禁止

ACアダプター使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと

感電の原因となります。

雷が鳴り止むまで機器から離れてください。



警告

指定の電源（電池、ACアダプター）を使う

指定以外のものを使うと、事故や故障の原因になります。

注意 (カメラとレンズについて)



感電注意

ぬれた手でさわらない

感電の原因になることがあります。



使用注意

カメラの電源がONの状態で、長時間直接触れないこと

使用中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になることがあります。



保管注意

製品は幼児の手の届くところに置かない

ケガの原因になることがあります。



使用注意

逆光撮影では、太陽を画角から充分にずらすこと

太陽光がカメラ内部で焦点を結び、火災の原因になることがあります。画角から太陽をわずかに外しても火災の原因になることがあります。



保管注意

使用しないときは、レンズにキャップを付けるか、太陽光のあたらない所に保管すること

太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。



移動注意

三脚にカメラやレンズを取り付けたまま移動しないこと

転倒したりぶついたりして、ケガの原因となることがあります。



使用注意

航空機内では、離着陸時に電源をOFFにする

飛行中は無線通信機能を使わない

病院では、病院の指示に従う

本機器が出す電磁波などが、航空機の計器や医療機器に影響を与えるおそれがあります。

注意 (カメラとレンズについて)



電池を取る



プラグを抜く

長期間使用しないときは電源 (電池やACアダプター) を外すこと

電池の液もれにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。

ACアダプターをご使用の際には、ACアダプターを取り外し、その後電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。



発光禁止

内蔵フラッシュの発光窓を人体やものに密着させて発光させないこと

やけどや発火の原因になることがあります。



禁止

布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと

熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。



放置禁止

窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない

故障や火災の原因になることがあります。



禁止

付属のCD-ROMを音楽用CDプレーヤーで使用しないこと
機器に損傷を与えたり大きな音がして聴力に悪影響を及ぼすことがあります。

危険 (専用リチウムイオン充電電池について)



禁止

電池を火に入れたり、加熱しないこと

液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。



分解禁止

電池を分解しない

液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。



危険

電池、または電池を入れたカメラに強い衝撃を与えたり、投げたりしないこと

液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。



危険

専用の充電器を使用すること

液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。



危険

ネックレスやヘアピンなど金属製のものと一緒に運んだり、保管したりしない

ショートして液もれ、発熱、破裂、発火の原因になりますので、端子カバーを付けて絶縁してください。

危険 (専用リチウムイオン充電池について)



使用禁止

Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL20a に対応していない機器には使用しないこと

液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。

Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL20a は、Nikon 1 V3 に対応しています。



危険

電池からもれた液が目に入ったときはすぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること

そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

警告 (専用リチウムイオン充電池について)



保管注意

電池は幼児の手の届くところに置かない

幼児の飲み込みの原因となります。

万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。



水かけ禁止

水につけたり、ぬらさないこと

液もれ、発熱の原因となります。



警告

変色・変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは、使用しないこと

液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。



警告

充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しないときは、充電をやめること

液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。



警告

電池をリサイクルするときや、やむなく廃棄するときはビニールテープなどで接点部を絶縁する

他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。

ニコンサービス機関やリサイクル協力店にご持参くださるか、お住まいの自治体の規則に従って廃棄してください。



警告

電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときはすぐにきれいな水で洗うこと

そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

注意 (専用リチウムイオン充電池について)



使用注意

充電中の電池に長時間直接触れないこと

充電中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になることがあります。

警告 (チャージャーについて)



分解禁止

分解したり修理や改造をしないこと

感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。



接触禁止

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと

感電したり、破損部でケガをする原因となります。



すぐに修理依頼を

チャージャーをコンセントから抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。



プラグを抜く

熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかにチャージャーをコンセントから抜くこと

そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。



すぐに修理依頼を

チャージャーをコンセントから抜く際、やけどに充分注意してください。ニコンサービス機関に修理を依頼してください。



水かけ禁止

水につけたり、水をかけたり、雨にぬらさない

感電や発火などの事故や故障の原因になります。



使用禁止

引火・爆発のおそれのある場所では使わない

プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因になります。



警告

電源プラグの金属部やその周辺にほこりが付着している場合は、乾いた布で拭き取ること

そのまま使用すると火災の原因になります。



使用禁止

雷が鳴り出したらチャージャーに触れないこと

感電の原因となります。

雷が鳴り止むまで機器から離れてください。



感電注意

ぬれた手でチャージャーをコンセントから抜き差ししないこと

感電の原因になることがあります。



禁止

チャージャーを海外旅行者用電子式変圧器（トラベルコンバーター）やDC/ACインバーターなどの電源に接続して使わないこと

発熱、故障、火災の原因となります。

注意 (チャージャーについて)



感電注意

ぬれた手でさわらない

感電の原因になることがあります。



使用注意

通電中のチャージャーに長時間直接触れないこと

通電中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になることがあります。



放置注意

製品は幼児の手の届くところに置かない

ケガの原因になることがあります。



禁止

布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと

熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。

ご確認ください

保証書について

この製品には「保証書」が付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっています。必ず「ご購入年月日」「ご購入店」が記入された保証書をお受け取りください。「保証書」をお受け取りにならないと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないことになります。お受け取りにならなかった場合は、ただちに購入店にご請求ください。

カスタマー登録

下記のホームページからカスタマー登録ができます。

<https://reg.nikon-image.com/>

カスタマーサポート

下記アドレスのホームページで、サポート情報をご案内しています。

<http://www.nikon-image.com/support/>

大切な撮影の前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能することを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

著作権についてのご注意

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権上、権利者に無断で使うことができません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の対象となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

使用説明書および活用ガイドについて

- 使用説明書および活用ガイドの一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- 製品の外観・仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご承知ください。
- 使用説明書および活用ガイドの誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 使用説明書および活用ガイドの内容が破損などによって判読できなくなったときは、下記のホームページから使用説明書のPDFファイルをダウンロードできます。

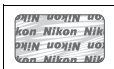
<http://downloadcenter.nikonimglib.com/>

ニコンサービス機関で新しい使用説明書を購入することもできます（有料）。

本製品を安心してお使いいただくために

本製品は、当社製のアクセサリ（レンズ、バッテリー、チャージャー、ACアダプターなど）に適合するように作られておりますので、当社製品との組み合わせでお使いください。

- Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL20aには、ニコン純正品であることを示すホログラムシールが貼られています。
- 模倣品のバッテリーをお使いになると、カメラの十分な性能が発揮できないほか、バッテリーの異常な発熱や液もれ、破裂、発火などの原因となります。
- 他社製品や模倣品と組み合わせると、事故・故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。



カメラやメモリーカードを譲渡/廃棄するときのご注意

メモリーカード内のデータはカメラやパソコンで初期化または削除しただけでは、完全には削除されません。譲渡/廃棄した後に市販のデータ修復ソフトなどを使ってデータが復元され、重要なデータが流出してしまう可能性があります。メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

メモリーカードを譲渡/廃棄する際は、市販のデータ削除専用ソフトなどを使ってデータを完全に削除するか、初期化後にメモリーカードがいっぱいになるまで、空や地面などの画像で置き換えることをおすすめします。メモリーカードを物理的に破壊して廃棄する場合は、周囲の状況やケガなどに充分ご注意ください。

- Wi-Fi接続設定は、Wi-Fiメニュー [接続設定] → [接続設定のリセット] で工場出荷時の設定にリセットしてください (□93)

電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

AVC Patent Portfolio Licenseに関するお知らせ

本製品は、お客様が個人使用かつ非営利目的で次の行為を行うために使用される場合に限り、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされているものです。

- (i) AVC規格に従い動画をエンコードすること（以下、エンコードしたものをAVCビデオといいます）
- (ii) 個人利用かつ非営利目的の消費者によりエンコードされたAVCビデオ、またはAVCビデオを供給することについてライセンスを受けている供給者から入手したAVCビデオをデコードすること

上記以外の使用については、黙示のライセンスを含め、いかなるライセンスも許諾されていません。

詳細情報につきましては、MPEG LA, LLCから取得することができます。

<http://www.mpegla.com> をご参照ください。

カメラが熱くなったときは

- カメラボディー表面が熱くなることがありますが故障ではありません。
- 次のような場合は、高温によるカメラへの損傷を抑えるために警告メッセージが表示され、カメラの電源がOFFになります。電源をOFFにしたままカメラ内部の温度が下がるまで撮影を一時休止してください。
 - 撮影時の気温が高い場合
 - 静止画、動画撮影を長時間行った場合
 - 連写（連続撮影）を行った直後など

☑ アクセサリーについてのご注意

このカメラには、ニコン製のアクセサリをお使いいただくことをおすすめします。他社製アクセサリは、カメラの故障や不具合の原因となることがあります。他社製アクセサリ使用によるカメラの不具合については、保証の対象となりませんので、ご了承ください。なお、このカメラに使用できる別売アクセサリについての最新情報は、最新のカatalogや当社のホームページなどでご確認ください（□xiv）。

☑ カメラなどの点検サービスについて

カメラは精密機械ですので、1～2年に1度は定期点検を、3～5年に1度はオーバーホールされることをおすすめします（有料）。

- 特に業務用にお使いの場合は、早めに点検整備を受けてください。
- より安心してご愛用いただけるよう、お使いのレンズなども併せて点検依頼されることをおすすめします。

Wi-Fi（無線LAN）機能について

電波に係わるご注意

- 本製品のWi-Fiの無線機能は、ご購入された国の法令に準拠し、ご購入された国以外では使用できません。

ご購入された国以外での使用について、当社は一切の責任を負いません。ご購入された国がわからないときは、本書の裏表紙に記載のニコン カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

Wi-Fi（無線LAN）機能のご注意

2.4 DS4 / OF4

Wi-Fi（無線LAN）機能：2.4DS4/OF4

本製品の使用周波数は2.4 GHz 帯、変調方式はDSSS、OFDM、与干渉距離は約40 mです。

- 本製品は、「電波法」に基づく技術基準適合認証を受けた無線設備を内蔵し、証明ラベルは無線設備上に表示しています。

以下の行為は法令で罰せられることがあります。

- 本製品の分解/改造
- 本製品から証明ラベルをはがす
- 本製品の使用周波数帯は、以下の機器や無線設備と同じです。
 - 電子レンジなどの産業・科学・医療用機器
 - 工場の製造ライン等の移動体識別用の
 - ① 構内無線局（免許を要する無線局）
 - ② 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
 - アマチュア無線局（免許を要する無線局）

これらの無線設備の近くでは、電波干渉で通信速度の低下、通信距離の短縮、通信の途絶が双方に生じることがあります。

- 本製品で電波干渉を起こさないよう、以下にご注意ください。
 - 使用周波数帯が同じ無線設備が近くにないか、事前に確認する
 - 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に電波干渉を生じたら、Wi-Fiアクセスポイントのチャンネル番号を変更して使用周波数を変える
- その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書の裏表紙に記載されているニコンカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。
- データを送受信は、第三者に傍受される危険性にご留意ください。
データ送受信による情報漏洩には、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品は、電子レンジなどの電気製品、AV機器、OA機器などの電磁波や磁気の発生源の周辺で使わないでください。
 - 雑音が増大したり、通信が途絶したりします。
 - AV機器、OA機器などの受信障害の原因になります。

本製品の使用上のご注意

本製品は、Wi-Fi（無線LAN）機器としてお使いください。

Wi-Fi機器以外としての使用による損害は、当社では一切の責任を負いません。

- 医療機器や人命に直接的または間接的に係るシステムなど、高い安全性が要求される用途には使わないでください。
- Wi-Fi機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途では、使用システムの安全設計や故障に対する適切な処置をしてください。

セキュリティについて

- 本製品は電波を利用して情報を交換するため、電波の届く範囲で自由に無線接続が可能であるという利点がありますが、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。
 - 情報の漏洩：悪意ある第三者が電波を故意に傍受し、ID やパスワードなどの個人情報漏洩する可能性があります。
 - 不正アクセス：悪意ある第三者が無断でネットワークにアクセスして、なりすまし、情報の改ざんなどの行為を行う可能性があります。また、本製品にセキュリティを設定したにもかかわらず、無線LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティが破られることもありますので、ご理解の上で使用ください。
- セキュリティ設定は、専用ソフトウェア「Wireless Mobile Utility」(□88) を使って行うことができます。
- 液晶モニターやスマートデバイスに使用権限のないネットワークが表示されても、接続しようとししないでください。接続しようとすると、不正アクセスとみなされる恐れがあります。使用権限のあるネットワークだけをお使いください。

本製品の輸出、持ち出しに係るご注意

本製品は、米国輸出規制（EAR）を含む米国法の対象であり、米国政府指定の輸出規制国（キューバ、イラン、北朝鮮、スーダン、シリア）への輸出や持ち出しには、米国政府の許可が必要になりますので、ご注意ください。なお、輸出規制国は変更されている可能性がありますので、詳しくは米国商務省へお問い合わせください。

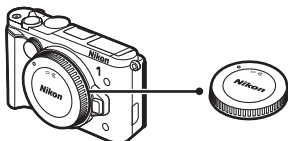
個人情報の管理および免責事項

- 使用者によって本製品内に登録または設定された、Wi-Fi（無線LAN）接続設定等の個人情報を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いで変化、消失する場合があります。
必要な内容は、お客さまの責任において控えを必ずおとりください。
当社の責によらない内容の変化、消失、それらに起因する直接または間接の損害および逸失利益には、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品を譲渡/ 廃棄するときは、使用者によって本製品内に登録または設定された、Wi-Fi接続設定等の個人情報を含む内容を、Wi-Fiメニュー [接続設定] → [接続設定のリセット] で工場出荷時の設定にリセットしてください (□93)。
- 本製品の盗難や紛失などで、第三者による不正使用の被害が発生しても、当社は一切の責任を負いません。

はじめに

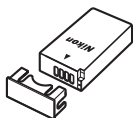
カメラと付属品の確認

お使いになる前に、カメラと付属品が全てそろっていることを確認してください。万一、不足のものがありませんでしたら、ご購入店にご連絡ください。



□ ボディーキャップBF-N1000

□ Nikon 1 V3 カメラ本体



□ Li-ion リチャージابلバッテリー EN-EL20a (端子カバー付)



□ バッテリーチャージャー MH-29



□ レンズ

□ ストラップAN-N1000

□ ViewNX 2 CD-ROM

□ USB ケーブルUC-E20

□ 保証書

□ 使用説明書 (本書)

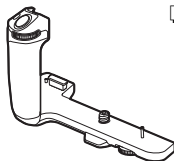
• レンズは、レンズキットの場合のみ付属しています。

• メモリーカードは付属していません。



□ 電子ビューファインダー DF-N1000※ (別売)

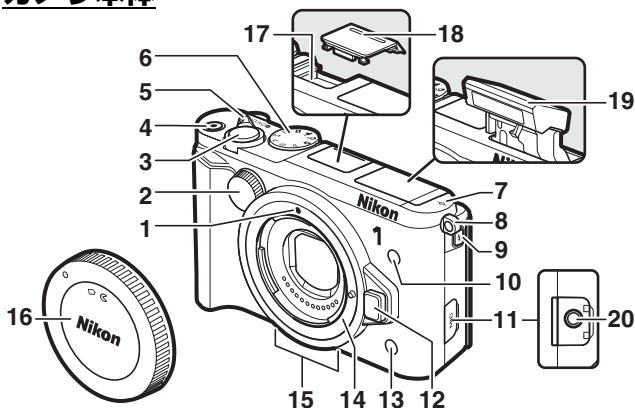
※ Nikon 1 V1 および Nikon 1 V2 には使用できません。



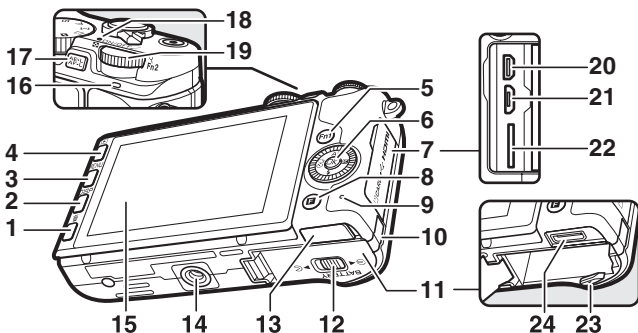
□ グリップ GR-N1010 (別売)

各部の名称と機能

カメラ本体



1	レンズ着脱指標.....	23	11	外部マイク入力端子カバー	
2	サブコマンドダイヤル	60、61	12	レンズ取り外しボタン	
3	シャッターボタン	53、64、67、69、73	13	リモコン受光部	80、118
4	動画撮影ボタン.....	49、50	14	レンズマウント	23
5	電源スイッチ	25	15	マイク	100
6	撮影モードダイヤル	7	16	ボディーキャップ	23
7	☉ 距離基準マーク		17	マルチアクセサリポート	
8	ストラップ取り付け部 (吊り金具).....	20	18	マルチアクセサリポート カバー	
9	フラッシュポップアップボタン	82	19	内蔵フラッシュ	82
10	AF補助光	99	20	外部マイク入力端子	109
	セルフタイマーランプ	79			
	赤目軽減ランプ	83			



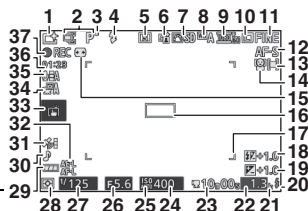
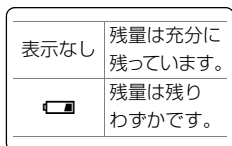
1	削除ボタン 37	12	バッテリー室カバー開閉ノブ 21
2	DISP 表示切り換えボタン 5	13	グリップ接点カバー 30
3	MENU メニューボタン 8	14	三脚ネジ穴※
4	再生ボタン 36、70、75	15	チルト式液晶モニター 4、12、25
5	Fn1 (ファンクション1) ボタン 11	16	スピーカー
6	ロータリーマルチセレクター 9	17	AE/AF ロックボタン
	OK ボタン 9	18	電源ランプ 25
	AF (フォーカスモード) 100	19	メインコマンドダイヤル/ Fn2 (ファンクション2) ボタン 11、36、59、61
	[] (露出補正)	20	HDMI 端子
	[] (フラッシュモード) 82	21	USB 端子 105
	[] (連写/セルフタイマー) 76、78、80	22	メモリーカードスロット 22
7	メモリーカードスロット/ 端子カバー 22	23	バッテリーロックレバー 21
8	F フィチャーボタン 10	24	グリップ接点 30
9	メモリーカードアクセス ランプ 34		
10	パワーコネクターカバー		
11	バッテリー室カバー 21		

※このカメラでは三脚アダプター TA-N100は使用できません。



液晶モニター表示

説明のため、全ての表示を点灯させています。

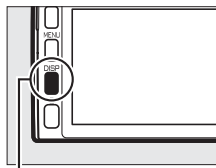


1	撮影モード	7	18	フラッシュ調光補正量	99
2	ライブコントロール	38	19	露出補正値	
	クリエイティブモード	40	20	レディーライト	84
	ベストモーメントキャプチャー モード	63、68	21	1000コマ以上補助表示	
	アドバンスト動画モード	49、52	22	記録可能コマ数	25
	露出モード	98		連続撮影可能コマ数	
3	プログラムシフトマーク	58		ホワイトバランスプリセット マニュアルデータ取得モード 表示	
4	フラッシュモード	83		カードなしマーク	
5	セルフタイマー	78	23	録画可能残り時間	50
	リモコンモード	80	24	ISO感度	101
	連写モード※	76	25	ISO感度マーク	101
6	アクティブD-ライティング※	99		ISO-AUTOマーク	
7	Picture Control※	101	26	絞り値	60、61
8	ホワイトバランス※	101	27	シャッタースピード	59、61
9	サイズ/フレームレート	100	28	測光モード	99
10	画像サイズ※	98	29	バッテリー残量表示※	
11	画質モード※	98	30	音の設定※	101
12	フォーカスモード※	100	31	衛星受信状態マーク※	
13	AFエリアモード※	99	32	AE-L/AF-Lマーク	
14	顔認識※	35、99	33	タッチ撮影機能	86
15	自動ゆがみ補正	99	34	動画中おまかせスナップ	100
16	AFエリア	33、99	35	マイク感度※	
17	AFエリアフレーム※		36	録画中経過時間	50
			37	録画中マーク	50

※DISPボタンを押して詳細表示にしたとき (□5) のみ表示されます。

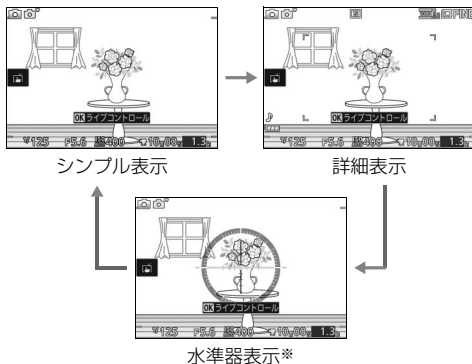
DISP（表示切り換え）ボタン

DISPボタンを押すたびに、液晶モニターに表示される情報が切り替わります。



DISPボタン

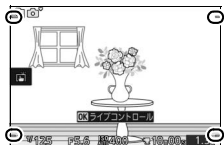
■ 撮影時



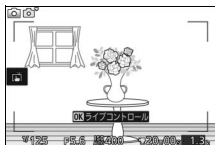
※クリエイティブモードの [クリエイティブリング] (□42) に設定している場合は表示されません。

🔪 撮影画面に表示されるガイドについて

撮影画面には動画を撮影するときに記録される範囲を示すガイドが表示されます。動画撮影メニューの [電子手ブレ補正] が、[しない] の場合と [する] の場合でガイドの形状は異なります。

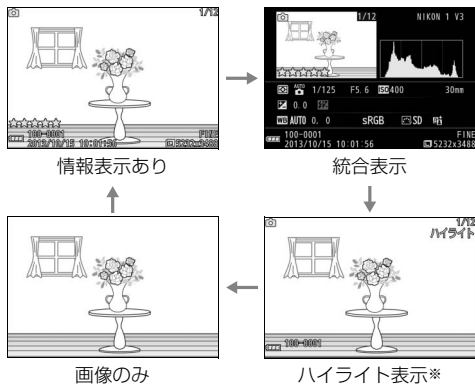


電子手ブレ補正 [しない]



電子手ブレ補正 [する]

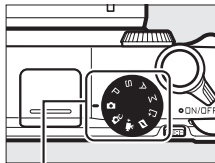
再生時



※セットアップメニュー [モニター表示] の [再生時ハイライト表示] を [する] に設定している場合のみ表示します (□101)。

撮影モードダイヤル

撮影モードダイヤルを回すと、次の各モードに切り換えられます。



撮影モードダイヤル



📷 クリエイティブモード (📖40)

特殊な効果を付けて撮影したり、シーンに合わせて撮影したりできます。

📷 オートモード (📖32)

カメラまかせで静止画や動画を撮影できます。

📷+ アドバンスド動画モード (📖49)

露出モードを設定してシャッタースピードや絞り値を変更したり、スローモーションや早送り動画などの特殊な効果を付けた動画を撮影したりできます。

📷 モーションスナップショットモード (📖72)

シャッターをきると、静止画と約1.6秒間の動画を撮影します (モーションスナップショット)。

📷+ ベストモーメントキャプチャーモード (📖63)

一時的に記録した40コマの静止画から画像を選べる「お気に入りフォト選択」、動きがゆっくりとなった表示を見ながらベストショットを撮影できる「スロービュー」、動きや構図が最適な画像をカメラが自動で選ぶ「スマートフォトセレクト」を選んで撮影できます。

P、S、A、Mモード (📖58)

シャッタースピードや絞り値などを自分で設定して、より本格的な静止画を撮影できます。

P：プログラムオート (📖58)

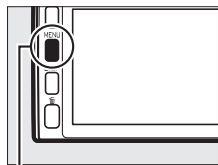
A：絞り優先オート (📖60)

S：シャッター優先オート (📖59)

M：マニュアル (📖61)

MENUメニューボタン

MENUボタンを押すと、次の画面が表示され、メニュー項目の設定ができます。



MENUボタン

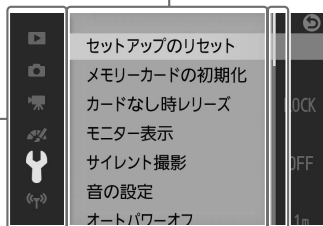
メニュー切り換えアイコン

画面左端のアイコンを選んで、メニューを切り換えます。

	再生メニュー (☞ 97)
	撮影メニュー (☞ 98)
	動画撮影メニュー (☞ 100)
	絵づくりメニュー (☞ 101)
	セットアップメニュー (☞ 101)
	Wi-Fiメニュー

メニュー項目

メニュー内にある設定項目を一覧表示します。



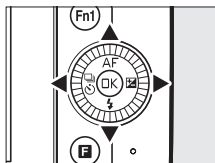
項目がそのメニュー全体のどの位置にあるかを示しています。

🔧 メニューについて

- 撮影モードやカメラの状態によって、表示されるメニュー項目は異なります。
- 撮影モードやカメラの状態によって、設定できないメニュー項目があります。この場合、その項目はグレーで表示されて選べません。
- メニュー画面から撮影に戻るには、シャッターボタンを半押し (☞ 33) してください。

■ メニュー画面の操作方法

再生、撮影、動画撮影、絵づくり、セットアップ、Wi-Fiの各メニュー画面は、ロータリーマルチセレクターで操作します。



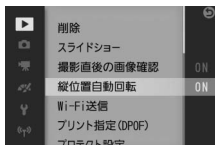
1 ロータリーマルチセレクターの▲▼でアイコンを選び、▶を押す

- メニュー内にある項目が一覧表示されます。



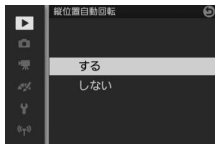
2 ▲▼で設定したい項目を選び、▶を押す

- 選んだ項目の設定内容が一覧表示されます。



3 ▲▼で設定したい項目を選び、ⓐボタンを押す

- 選んだ内容が決定されます。



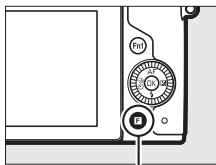
🔧 ロータリーマルチセレクターについて

ロータリーマルチセレクターは、上下左右（▲、▼、◀、▶）を押したり回して操作できます。



F (フィーチャー) ボタン

撮影画面または再生画面で**F** (フィーチャー) ボタンを押すと、**F**メニューが表示されます。撮影時の設定を変更したり、再生に関する機能を使用したりできます。



F ボタン



撮影時の**F**メニュー



再生時の**F**メニュー

1 ロータリーマルチセクターの ▲▼◀▶で設定したい項目を選び、 Ⓞボタンを押す

- 選んだ項目の設定内容が一覧表示されます。
- **F**メニュー画面から撮影に戻るには、**X**を選んでⓄボタンを押すか、シャッターボタンを半押し (□33) してください。



2 設定したい項目や数値を選び、Ⓞボタンを押す

- 選んだ内容が決定されます。



Fメニューについて

- カメラの設定や、再生している画像の種類によって表示される項目は異なります。
- 設定できない項目はグレーで表示されます。
- オートモードの場合は、**F**ボタンを押しても**F**メニューは表示されません。

Fn1、Fn2（ファンクション）ボタン

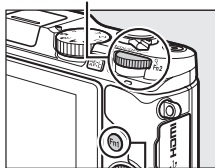
撮影画面で**Fn1** ボタンまたは**Fn2** ボタンを押すと、よく使う機能を素早く呼び出せます。割り当てる機能は、セットアップメニュー（□101）の**〔Fnボタンの機能〕**で変更できます。

- **〔Fnボタンの機能〕** で割り当てを変更したいボタンを選んで、ロータリーマルチセクターの▶を押すと、次の中から割り当てる機能を選べます。

- | | |
|------------------|-------------------------|
| - 露出補正 | - Picture Control（□101） |
| - 測光モード（□99） | - AFエリアモード（□100） |
| - ホワイトバランス（□101） | - 動画撮影ボタン |
| - ISO感度設定（□101） | |

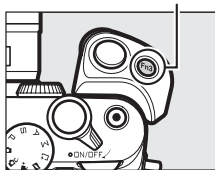
- **〔動画撮影ボタン〕** を選んだ場合、**Fn1** ボタンまたは**Fn2** ボタンが動画撮影ボタン（□50）として機能します。
- 別売のグリップ（□30）を装着している場合は、**Fn3** ボタンにも機能を割り当てられます。

Fn2 ボタン



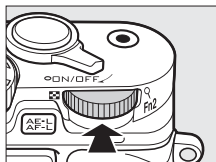
Fn1 ボタン

Fn3 ボタン



Fn2 ボタンについて

メインコマンドダイヤルを押し込むと、**Fn2** ボタンとして使えます。



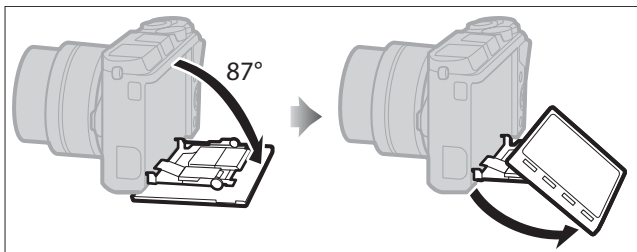
Fn2 ボタン

Fn1、Fn2、Fn3 ボタンの初期設定について

Fn1 ボタン、**Fn2** ボタン、**Fn3** ボタンの初期設定は、それぞれ**〔ホワイトバランス〕**、**〔ISO感度設定〕**、**〔動画撮影ボタン〕**です。

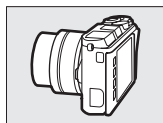
チルト式液晶モニター

このカメラの液晶モニターは、角度を変えて使えます。



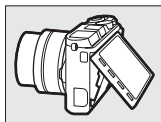
通常の撮影

通常の撮影では、モニター画面を収納している状態でお使いいただくことをおすすめします。

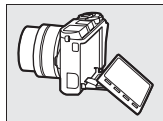
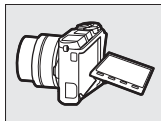


ローアングル撮影

低い位置にある被写体の撮影に便利です。

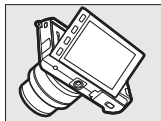


- ローアングル撮影の場合、さらに液晶モニターを下げることもできます。



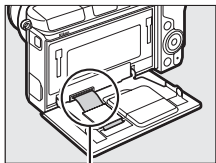
ハイアングル撮影

高い位置にある被写体や人越しの撮影に便利です。



▼ チルト式液晶モニター取り扱い上のご注意

- 液晶モニターの角度を変える場合は、可動範囲内でゆっくりと動かしてください。無理な力がかかると、カメラ本体や液晶モニターの破損の原因となります。
- 液晶モニターの内側には触れないでください。故障の原因となります。
- 三脚使用時には、液晶モニターが三脚に接触しないように注意しながら角度を変えてください。



特にこの部分には触れないでください。



タッチパネルを使う

このカメラの液晶モニターはタッチパネルになっており、指で画面に触れて操作できます。操作方法は次の通りです。

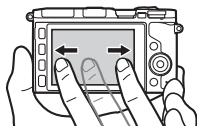
タッチ

タッチパネルに触れて離す操作です。



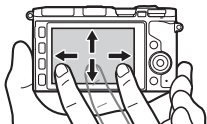
フリック

タッチパネルを指で上下左右に払う操作です。



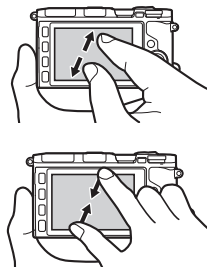
スライド

タッチパネルに触れたまま指を上下左右に動かす操作です。



広げる/つまむ

タッチパネルに2本の指を触れたまま、指の間隔を広げたり、つまむように狭めたりする操作です。



▼ タッチパネルについてのご注意

- このカメラのタッチパネルは静電式です。爪でタッチしたり、手袋などをはめたままタッチしたりすると反応しないことがあります。
- 先のとがった硬い物で押さないでください。
- タッチパネルを必要以上に強く押したり、こすったりしないでください。
- 市販の保護フィルムを貼ると反応しないことがあります。

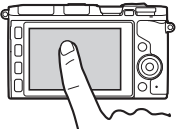
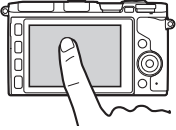
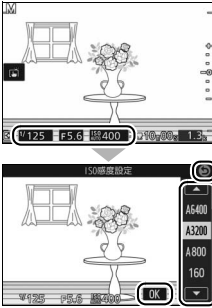
▼ タッチパネル操作時のご注意

- タッチするときに、指をタッチパネルに触れたままにすると、適切に動作しないことがあります。
- スライド/広げる/つまむ操作時に以下の操作をすると、適切に動作しないことがあります。
 - タッチパネルをはじく
 - 指を動かす距離が短すぎる
 - タッチパネルを軽くなでるように指を動かす
 - 指を動かす速度が速すぎる
 - 広げるとき/つまむときに、2本の指のタイミングの差が大きい
- タッチ時に、タッチパネルの他の部分に何かが触れていると、適切に動作しないことがあります。



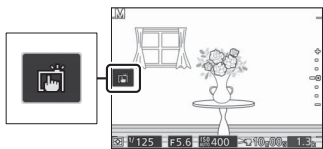
■ 撮影画面で使う

撮影画面では次の操作ができます。

シャッター をきる (タッチ 撮影機能)		タッチした位置にピントを合わせてシャッターがきれます（オートモード、クリエイティブモードまたはP、S、A、Mモードの場合）。
ピントを 合わせる (タッチ 撮影機能)		タッチした位置でピント合わせを行います（アドバンスド動画モードの場合）。
設定を変更 する		枠が表示されたアイコンにタッチすると、設定を変更できます。 - アイコンやスライダーにタッチして項目や数値を選びます。 OK にタッチすると決定して撮影画面に戻ります。 ⏮ にタッチすると前の画面に戻ります。 - カメラの設定によって、表示されるアイコンは異なります。

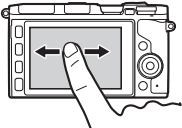
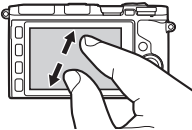
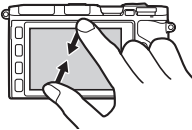
■ タッチ撮影機能の切り換えについて

撮影画面で右図のアイコンにタッチすると、画面にタッチしたときの機能を切り換えられます（□86）。



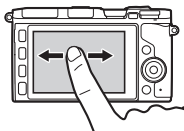
再生画面で使う

□ボタンを押すと画像の再生画面（□36）に切り替わり、次の操作ができます。

前後の画像 を表示する		左右にフリックすると、前後の画像を表示します。
動画または パノラマ 画像を再生 する	 操作ガイド	■が表示されている画像またはパノラマ画像で、操作ガイドにタッチすると再生します。 再生中に画面をタッチすると一時停止します。もう一度タッチすると再生を再開します。
拡大表示 する		広げる操作をするか、画像を素早く2回タッチすると拡大表示します。 - さらに広げる操作をすると、拡大率が上がります。 - つまむ操作をすると、拡大率が下がります。 - 画面をスライドすると表示範囲を移動します。 - 画面を素早く2回タッチすると、拡大表示を解除します。
サムネイル 表示する		つまむ操作をすると、サムネイル表示します。 広げる/つまむ操作をすると、表示コマ数（4コマ/9コマ/16コマ）が切り替わります。



表示月を
切り換える



カレンダー表示時に左右にフリックすると、表示月を切り換えます。

操作ガイド
で操作する

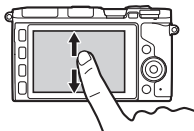


画面に表示された操作ガイドにタッチして操作できます。

■ メニュー画面で使う

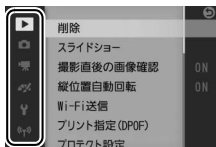
MENUボタンを押すとメニュー画面（□8）に切り替わり、次の操作ができます。

メニューを
スクロール
する



上下にスライドすると、メニュー画面をスクロールします。

メニューを
切り換える



画面左端のアイコンにタッチすると、選んだアイコンのメニュー画面が表示されます。

設定する



メニュー項目にタッチして選択します。

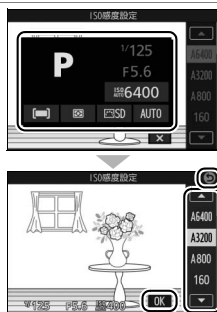
- アイコンやスライダーにタッチして項目や数値を選びます。
- にタッチすると前の画面に戻ります。



■ Fメニュー画面で使う

F（フィーチャー）ボタンを押すと**F**メニュー（ 10）が表示され、次の操作ができます。

設定する



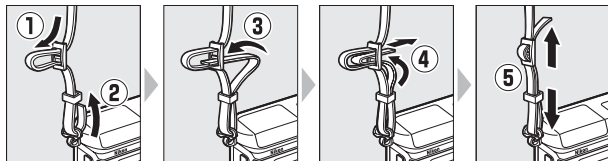
メニュー項目にタッチすると、設定画面が表示されます。

- アイコンやスライダーにタッチして項目や数値を選びます。
- **OK** にタッチすると決定して**F**メニューを閉じます。
- にタッチすると前の画面に戻ります。

撮影前の準備

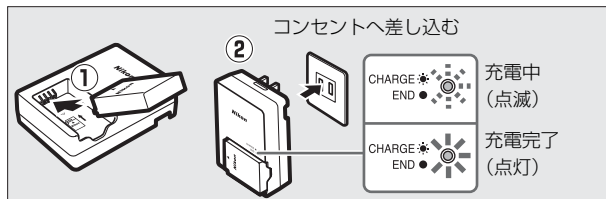
ストラップを取り付ける

次のようにストラップをカメラに取り付けます（2カ所）。



バッテリーを充電する

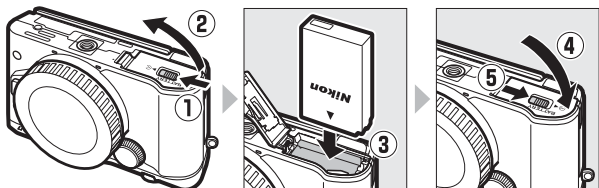
付属のLi-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL20aは、お使いになる前に付属のチャージャー MH-29で次のようにフル充電してください。充電には約3時間かかります（残量の少ないバッテリーの場合）。



充電が完了したら、チャージャーをコンセントから抜き、バッテリーを取り外します。

カメラにバッテリーを入れる

バッテリーを入れる向きに注意してください。



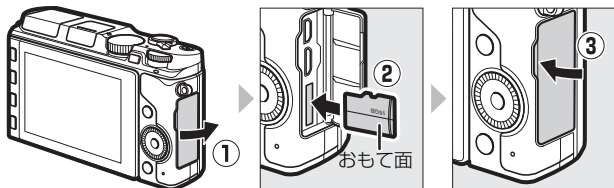
- オレンジ色のバッテリーロックレバーをバッテリー側面で押しながら、バッテリーを奥まで差し込むと、オレンジ色のバッテリーロックレバーで固定されます。



カメラにメモリーカードを入れる

メモリーカードを入れる向きに注意してください。

- このカメラは microSD メモリーカード、microSDHC メモリーカードまたは microSDXC メモリーカードを使用できます。



- メモリーカードをカメラに入れるときは、必ずカメラの電源をOFFにしてください。
- メモリーカードはカチッと音がするまで挿入してください。
- メモリーカードを斜めに差し込まないでください。破損や故障の原因となります。

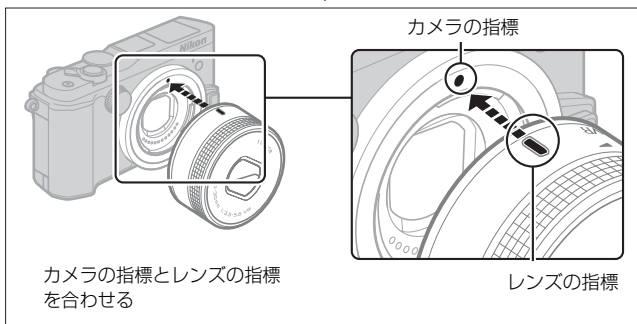
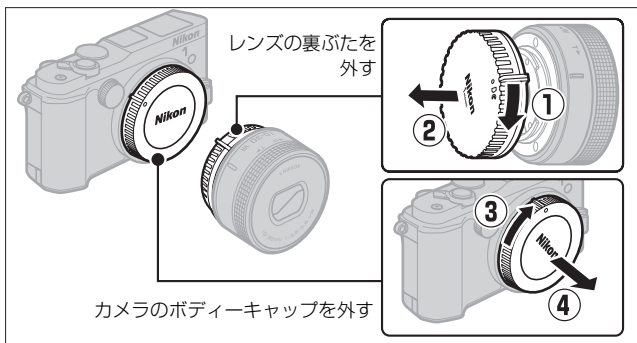
メモリーカードの初期化（フォーマット）

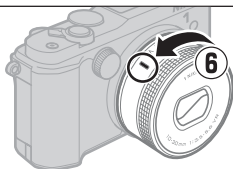
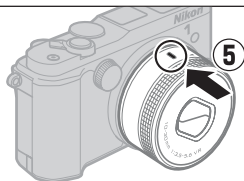
このカメラに初めて入れるメモリーカードや、他のカメラやパソコンで初期化されたメモリーカードは、セットアップメニュー【メモリーカードの初期化】で、画面の指示に従って初期化してください（□101）。メモリーカードを初期化すると、カード内のデータは全て削除されます。必要なデータがある場合は、初期化する前にパソコンなどに保存してください（□103、105）。

🔧	セットアップのリセット	🔒
📁	メモリーカードの初期化	
🔊	カードなし時リリース	LOCK
📺	モニター表示	
🔧	サイレント撮影	OFF
🔊	音の設定	
🔌	オートパワーオフ	10

レンズを取り付ける

ほこりなどがカメラ内部に入らないように注意してください。





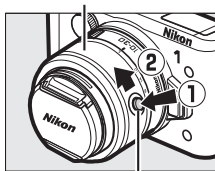
カチッと音がするまで、矢印の方向にレンズを回す

■ズームリングボタンの付いたレンズをお使いの場合

ズームリングボタンの付いたレンズは、沈胴状態では撮影できません。

- ズームリングボタンを押しながら①ズームリングを矢印の方向に回します②。ズームリングのロックが解除され、レンズが繰り出します。
- 収納するときは、ズームリングボタンを押しながら、ズームリングを逆方向に回します。レンズが鏡筒に収まり、ズームリングがロックされます。
- レンズを取り外す前にレンズを収納してください。また、レンズ着脱時は、ズームリングボタンを押さないよう、ご注意ください。
- ズームリングのロックを解除すると、電源がONになります。
- 次の場合にズームリングをロックすると、電源がOFFになります。

ズームリング



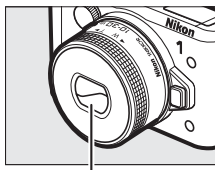
ズームリングボタン

- 液晶モニターに撮影画面が表示されている場合

- 液晶モニターが消灯し待機状態の場合（1 NIKKOR VR 10-30mm f/3.5-5.6 または1 NIKKOR VR 30-110mm f/3.8-5.6 レンズをお使いの場合、レンズのファームウェアがVer.1.10以降である必要があります。ファームウェアのバージョンアップ方法については、当社のホームページなどでご確認ください）

■1 NIKKOR VR 10-30mm f/3.5-5.6 PD-ZOOMをお使いの場合

1 NIKKOR VR 10-30mm f/3.5-5.6 PD-ZOOMのレンズバリアーには触れないでください。故障の原因になることがあります。

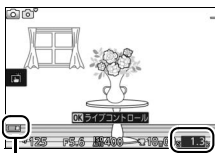
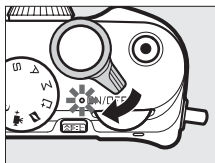


レンズバリアー

カメラの電源をONにする

電源スイッチを回すと、電源ランプ（緑色）が一瞬点灯した後、液晶モニターが点灯します。

- もう一度電源スイッチを回すと、電源がOFFになります。電源がOFFになると、液晶モニターが消灯します。
- 1 NIKKOR VR 10-30mm f/3.5-5.6 PD-ZOOMを取り付けている場合は、カメラの電源をONにするとレンズが自動的に繰り出し、OFFにすると自動的に収納されます。
- 液晶モニターでバッテリーの残量と、メモリーカードの記録可能コマ数（これから撮影できるコマ数）を確認します。
- レンズキャップのあるレンズを取り付けている場合は、撮影する前にレンズキャップを外してください。



バッテリー
残量

記録可能
コマ数

節電機能について（オートパワーオフ）

カメラを操作しない状態が約1分間続くと、液晶モニターが自動的に消灯して待機状態になり、電源ランプが点滅します。そのまま約3分経過すると、電源が自動的にOFFになります。

- 待機状態（電源ランプが点滅）を解除するには、シャッターボタンなどを操作してください。

■■ 日付と時刻を合わせる

ご購入後、初めて電源をONにすると、カメラの内蔵時計の日付と時刻を設定する画面が表示されます。ロータリーマルチセクターの◀▶を押して項目を選び、▲▼で数値を変えてください。



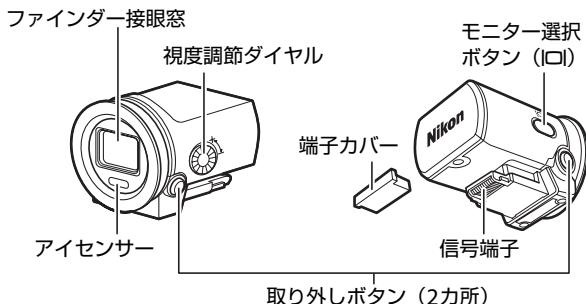
- 日付と時刻を設定した後、OK ボタンを押すと設定が完了し、撮影画面が表示されます。



電子ビューファインダーとグリップを取り付ける

電子ビューファインダー

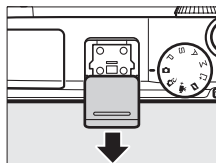
このカメラは、マルチアクセサリポートに別売の電子ビューファインダー（□108）を装着できます。別売の電子ビューファインダーに使用説明書は付属していません。本書をよくお読みになり、内容を十分に理解してから正しくお使いください。



■ 電子ビューファインダーの取り付け方

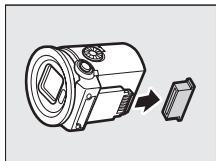
1 マルチアクセサリポートカバーを取り外す

- マルチアクセサリポートを使わないときは、マルチアクセサリポートカバーを取り付けてください。



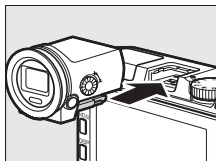
2 電子ビューファインダーの端子カバーを取り外す

- 電子ビューファインダーをカメラに取り付けていないときは、端子カバーを取り付けてください。



3 電子ビューファインダーの信号端子をマルチアクセサリポートに差し込む

- カメラの電源がOFFになっていることを確認してください。
- 「カチッ」と音がしてロックされるまで、差し込んでください。



❏ 電子ビューファインダーを取り外すときは

カメラの電源がOFFになっていることを確認してから、両方の取り外しボタンを押したまま、ゆっくり引き抜きます。

- 電子ビューファインダーは無理に引き抜かないでください。

❑ 電子ビューファインダーについてのご注意

- 電子ビューファインダーをお使いにならない場合は、カメラから取り外してください。取り付けたままカメラをバッグに入れたりして持ち運んでいるときに強い衝撃や振動が加わると、カメラや電子ビューファインダーが破損することがあります。
- 電子ビューファインダーの信号端子には触れないようにご注意ください。故障の原因となります。



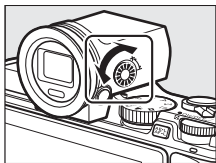
❏ 電子ビューファインダーについて

- 電子ビューファインダーに顔を近づけると、アイセンサーが反応して、液晶モニターが消灯し、電子ビューファインダーが点灯します。明るい場所で液晶モニターが見えにくいときは、電子ビューファインダーをお使いください。
- 指などを近づけたときも、電子ビューファインダーに切り替わります。液晶モニターを使用したいときは、アイセンサーに触れないでください。
- モニター選択ボタンを押すと、自動表示切り換え（[アイセンサー オン]）、常時電子ビューファインダー点灯（[アイセンサー オフ]）、常時液晶モニター点灯の順に表示設定が切り替わります。
- 電子ビューファインダーの表示設定が、常時電子ビューファインダー点灯または常時液晶モニター点灯の場合は、カメラの電源をOFFにしてから再びONにしたときに自動表示切り換えに変更されます。
- 電子ビューファインダー使用時も液晶モニターと同様に、DISPボタンを押して表示される情報を切り換えられます（□5）。

❏ 電子ビューファインダーを見やすくする（視度調節）

電子ビューファインダーの視度が合わず、表示が見えにくいときは、視度調節ダイヤルで視度を調節できます。

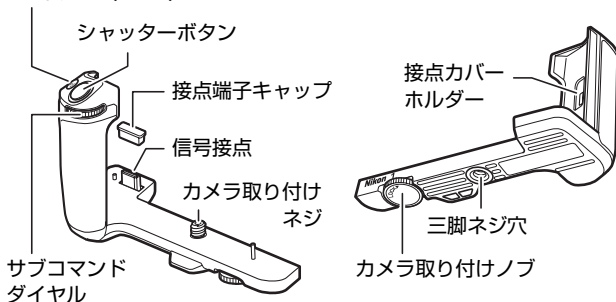
- 電子ビューファインダーをのぞきながら視度調節ダイヤルを回し、画面表示が最もはっきり見えるように調節してください。
- 爪や指先で目を傷つけないようにご注意ください。



グリップ

このカメラは、別売のグリップ (□109) を装着できます。カメラをホールドしやすくなり、操作性が向上します。別売のグリップに使用説明書は付属していません。本書をよくお読みになり、内容を十分に理解してから正しくお使いください。

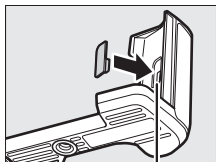
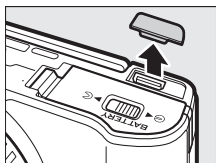
Fn3ボタン (□11)



■ グリップの取り付け方

1 グリップ接点カバーを取り外す

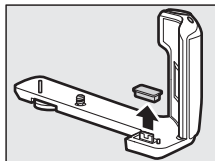
- グリップを使わないときは、グリップ接点カバーを取り付けてください。
- 取り外したグリップ接点カバーは、グリップの接点カバーホルダーに収納してください。



接点カバーホルダー

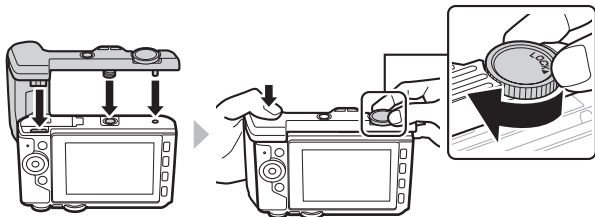
2 グリップの接点端子キャップを取り外す

- グリップをカメラ本体に取り付けていないときには、接点端子キャップを取り付けてください。



3 グリップを取り付ける

- カメラの電源がOFFになっていることを確認してください。
- 図のようにカメラとグリップを合わせ、カメラのグリップ接点にグリップの信号接点がまっすぐ差し込まれるようにグリップを押さえながら、カメラ取り付けノブをLOCK►の指標の方向に回して固定します。



グリップを取り外すときは

カメラの電源がOFFになっていることを確認してからグリップのカメラ取り付けノブをLOCK►の指標の反対方向に回して取り外します。

グリップについてのご注意

グリップの信号接点には触れないようにご注意ください。故障の原因となります。



静止画を撮影する/再生する

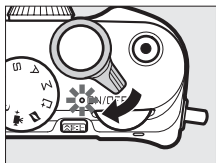
カメラまかせで撮影する（オートモード）

まずは、カメラまかせで静止画（写真）を撮影してみましょう。オートモードでは、カメラが撮影シーンや被写体を自動的に判別し、最適な設定で撮影します。

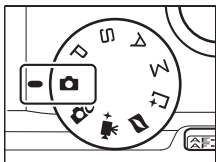


1 カメラの電源をONにする

- 電源スイッチを回して、カメラの電源をONにします。

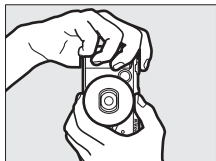
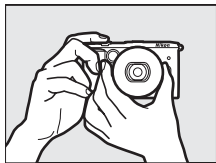


2 撮影モードダイヤルを📷に合わせる



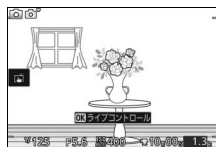
3 カメラを両手でしっかりと構える

- レンズやAF補助光、マイクなどに、指や髪、ストラップなどがかからないようにご注意ください。
- 人物などを縦位置で撮影する場合は、カメラを縦位置に構えます。
- 暗いときは、手ブレしやすいのでフラッシュ（□82）や三脚の使用をおすすめします。

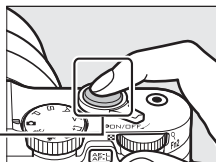


4 構図を決める

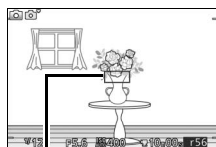
- 被写体を画面の中央付近に配置します。



5 シャッターボタンを軽く押して（半押しして）、被写体にピントを合わせる



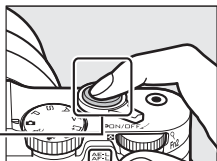
- ピントが合うと、ピピッという電子音が鳴り、AFエリアが緑色に点灯します（被写体が動いているときは、電子音が鳴らない場合があります）。
- AFエリアが赤く表示されたときは、オートフォーカスでのピント合わせができません。
- 暗い場所などでは、AF補助光（□2）が光ることがあります。



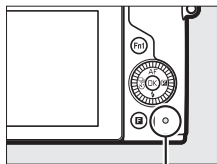
AFエリア



6 シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込んで（全押しして）、撮影する

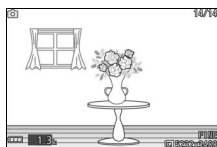


- メモリーカードアクセスランプが点灯している間は、画像を記録しています。メモリーカードやバッテリーを取り出さないでください。



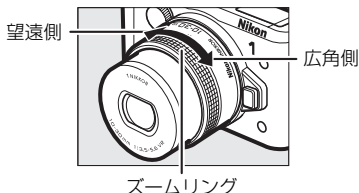
メモリーカード
アクセスランプ

- 撮影が終了すると、撮影した画像が液晶モニターに数秒間、表示されます。
- 画像の表示中でもシャッターボタンを半押しすると、すぐに次の撮影ができます。



ズームレンズの使い方

被写体を大きく写したいときはズームリングを望遠側に、広い範囲を写したいときはズームリングを広角側に回してください。

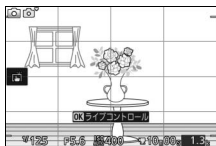


ズームリング

- 1 NIKKOR VR 10-30mm f/3.5-5.6 PD-ZOOMをお使いの場合、動画撮影時はズームリングを速く回してもゆっくりズーミングして、動画撮影に適した動作になります。

格子線の表示

セットアップメニュー [モニター表示] の [格子線の表示] を [する] にすると、撮影時に構図用格子線を表示できます (□101)。



シーンの自動判別について

オートモードでは、カメラが撮影シーンや被写体を自動的に判別し、最適な設定で撮影します。

- 液晶モニターの左上に、カメラが選んだシーンのアイコンが表示されます。

シーンのアイコン



	ポートレート	人物を認識した場合
	風景	自然の風景や街並みを認識した場合
	夜景ポートレート	夕景や夜景をバックに人物を認識した場合
	クローズアップ	近接位置の被写体を認識した場合
	夜景	夕景や夜景を認識した場合
	オート	上記のシーンを認識しなかった場合

人物を撮影する場合のピント合わせ (顔認識)

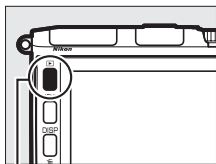
カメラが人物の顔 (正面) を認識すると、AFエリアが黄色の二重枠に変わります。複数の顔を認識した場合 (最大5人まで) は、カメラが最も近いと判断した人物の顔を二重枠で表示します。

- シャッターボタンを半押しすると、二重枠で囲まれた人物の顔にピントを合わせます。
- 途中で顔が横を向くなどしてカメラが顔を見失うと、枠が消えます。

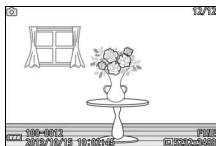


撮影した静止画を再生する

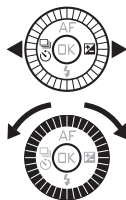
▶ ボタンを押して、画像を再生すると、最後に撮影した画像が液晶モニターに表示されます（1コマ表示モード）。



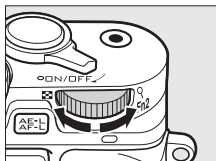
▶ ボタン



- ロータリーマルチセクターの ◀▶ を押すかロータリーマルチセクターを回すと、前後の画像を表示できます。



- メインコマンドダイヤルを右に回すと、表示中の画像を拡大します。
- メインコマンドダイヤルを左に回すと、複数の画像を一覧表示します。
- 撮影に戻るには、シャッターボタンを半押ししてください。



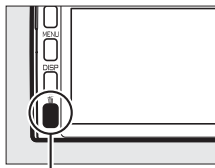
メインコマンドダイヤル

画像を削除する

表示中の画像を削除します。削除した画像は元には戻せないものでご注意ください。

1 削除したい画像を表示して、 ボタンを押す

- 削除確認画面が表示されます。

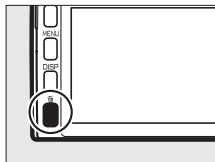


 ボタン



2 もう一度 ボタンを押して、表示中の画像を削除する

- 削除をやめるには、 ボタンを押します。



再生メニュー [削除]

再生メニューの[削除] (□ 97) では次の方法で、複数の画像を一度に削除できます。

- 複数の画像を選んで削除する：選択画像削除
- 同じ日付の画像をまとめて削除する：日付選択
- 全画像を一括で削除する：全画像削除

ライブコントロールで静止画を撮影する

オートモードで $\odot$ OKボタンを押すと、[ライブコントロール]メニューが表示されます。ライブコントロールを使用すると、効果を確認しながら静止画を撮影できます。



- ロータリーマルチセクターで項目を選び、 $\odot$ OKボタンを押すと、設定画面が表示されます。
- 設定画面では、ロータリーマルチセクターを回して、効果の度合いを調整できます。 $\odot$ OKボタンを押すと、効果の度合いを決定して撮影画面に戻ります。



[明暗差を調整する]：

ハイライト部の白とびを抑え、シャドー部の黒つぶれを軽減してコントラストを調整します。



効果の度合い強め



効果の度合い弱め

効果の度合い強め



効果の度合い弱め

☒ ライブコントロール設定時のご注意

- 連続撮影 (□76) はできません。
- フラッシュは発光しません。
- 動画撮影ボタンを押すと、ライブコントロールを解除します。

【背景をぼかす】：

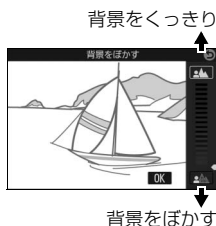
被写体周辺部のぼかしの度合いを調整します。メインとなる被写体を浮き立たせた写真を撮影したり、近くから遠くまでピントのあった写真を撮影したりできます。



背景をくっきり



背景をぼかす

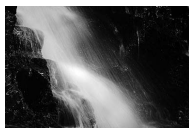


【動きを表現する】：

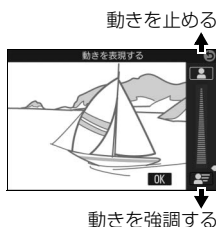
被写体の動きを強調する度合いを調整します。動きの速い被写体を止まっているように撮影したり、被写体の動きを強調して撮影したりできます。



動きを止める



動きを強調する

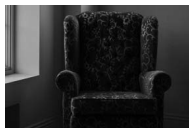


【明るさを変える】：

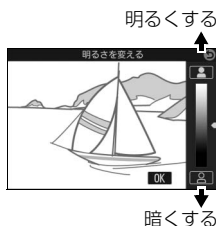
画像全体の明るさを調整します。



明るくする



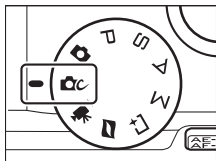
暗くする



シーンや効果を選んで撮影する (クリエイティブモード)

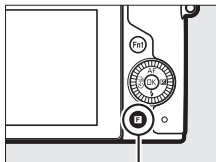
シーンに合わせて撮影したり、特殊な効果を付けて撮影したりすることができます。

1 撮影モードダイヤルを **cc** に合わせる



2 シーンと効果を選ぶ

- **F**（フィーチャー）ボタンを押して**F**メニューを表示し、[クリエイティブ]を選んで**OK**ボタンを押します。



F ボタン



- ロータリーマルチセクターで使用したいシーン（□41）を選び、**OK**ボタンを押します。



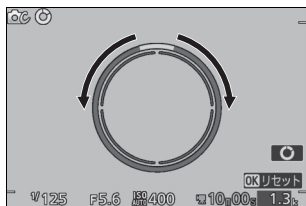
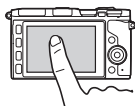
クリエイティブモードで選べるシーンと効果

シーン	内容
クリエイティブリング (C)	ロータリーマルチセクターでクリエイティブリングを回して、変化する効果を確認しながら撮影できます (□42)。
HDR (HDR)	明暗差が大きい撮影シーンでの撮影に適しています (□43)。
かんたんパノラマ (M)	カメラで再生可能なパノラマ写真を撮影できます (□44)。
ソフト (O)	柔らかな雰囲気にするために、画像を少しぼかします。F (フィーチャー) メニューで効果の度合いと、カメラが人物を認識した場合の画像のぼかし方を設定できます。
ミニチュア効果 (M)	撮影した画像の上下部分をぼかすことにより、ミニチュア (模型) を接写したような画像にします。高いところから見下ろして撮影すると効果的です。
セレクトカラー (P)	画像の特定の色だけを残し、他の部分を白黒にします (□47)。
クロスプロセス (X)	特定の色を基調にして、通常と異なる色合いの画像にします (□48)。
トイカメラ風 (T)	トイカメラで撮影したような画像にします。F メニューで色の濃さと、画像周辺部に行う減光処理の度合いを変更できます。



[クリエイティブリング] で撮影する

画像に特殊な効果を付けて撮影できます。液晶モニターに表示される効果を、撮影画面で確認しながら撮影します。ロータリーマルチセレクターを回すと、液晶モニター上でクリエイティブリングのカーソルが回転し、徐々に効果が変化します。クリエイティブリングのカーソルは、画面にタッチしても操作できます。



- シャッターボタンを全押しすると、表示中の効果を付けて撮影します。
-  アイコンにタッチすると、クリエイティブリングの表示/非表示が切り替わります。クリエイティブリングが表示されているときは、タッチ撮影機能 (□86) は使用できません。
- フラッシュは発光しません。

撮影シーンについて

- クリエイティブリングに設定すると、カメラが撮影シーンを自動的に判別します。撮影シーンによって画像に付加される効果は異なります。
- クリエイティブリング表示中に  ボタンを押すか [リセット] をタッチすると、効果をリセットしてカメラが撮影シーンを再度判別します。

[HDR] で撮影する

1回の撮影で露出が異なる画像を連続で撮影して合成する、HDR（ハイダイナミックレンジ）合成を行います。白とびや黒つぶれの少ない、シャドー部からハイライト部まで幅広く再現された画像になります。明暗差の大きい風景撮影に適しています。



露出暗めで
撮影した画像

+



露出明るめで
撮影した画像



HDRで
合成された画像



- シャッターボタンを全押しすると、高速で連写します。
- 合成処理が終了すると、合成後の画像が再生されます。

☑ HDR撮影時のご注意

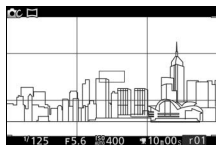
- 画像の記録に時間がかかる場合があります。
- 撮影した画像の周辺部は切り取られます。
- 動いている被写体を撮影する場合や撮影時の手ブレの量が多い場合は、正しく合成されないことがあります。
- 撮影シーンによっては、明るい被写体の周辺に暗い影が出たり、暗い被写体の周辺が明るくなったりします。
- 被写体によっては画像に階調とびが発生する場合があります。
- フラッシュは発光しません。

【かんたんパノラマ】で撮影する

■ パノラマ画像を撮影する

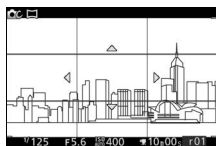
- 1** 一番端の被写体に構図を合わせ、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる

- 画面に格子のガイドが表示されます。



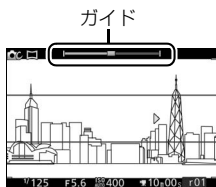
- 2** シャッターボタンを全押ししてから指を放す

- カメラを動かす方向を示す ▲▼◀▶ マークが表示されます。

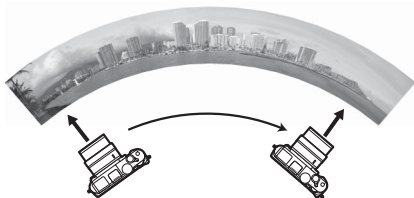


- 3** カメラを4方向のいずれかに、まっすぐゆっくりと動かし、撮影を開始する

- カメラが動いている方向を検出すると、撮影が始まります。
- 現在の撮影地点を示すガイドが表示されます。
- 撮影地点を示すガイドが端まで到達すると撮影が終了します。



カメラの動かし方の例



- 撮影者は動かずに、カメラを水平方向、または垂直方向に円弧を描くように動かします。



☑ かんたんパノラマ撮影時のご注意

- AFエリアモード (□99) は「オートエリア」になります。顔認識 (□35) は行いません。
- 露出補正が設定できます。
- 保存される画像の範囲は、撮影時に画面で見える範囲よりも狭くなります。
- 撮影メニューの「画像サイズ」(□98) が「標準パノラマ標準」のときは約15秒以内、「標準パノラマワイド」のときは約30秒以内を目安に、範囲の端から端まで動かしてください。
- カメラを動かす速度が速すぎるときや、ブレが大きいきなどは警告メッセージが表示されます。
- パノラマ範囲の半分に到達する前に撮影が止まると、パノラマ画像は保存されません。
- パノラマ範囲の半分以上を撮影していて、終端に到達する前に撮影が終了したときは、撮影されなかった範囲がグレーの表示で記録されます。
- フラッシュは発光しません。
- ゆがみの大きい広角レンズを使用している場合、正しく合成できない場合があります。
- パノラマ画像は複数の画像から合成して作成しているため、次のような被写体の場合は、つなぎ目が目立つなど望ましい結果が得られないことがあります。
 - 単調な色や模様が続く被写体（空や海など）
 - 動いている被写体
 - 暗い場所
 - 短時間で色や明るさが変化する被写体（蛍光灯やディスプレイなど）
 - 被写体とカメラの距離が近すぎる場合

■■ パノラマ画像を再生する

撮影したパノラマ画像は、1コマ表示モード（36）で $\odot$ ボタンを押して再生します。画像の短辺を画面いっぱいに表示し、表示範囲を撮影したときと同じ方向に自動で移動（スクロール）します。



ナビゲーション 操作ガイド
ウィンドウ

● パノラマ再生時には次の操作を行えます。

一時停止する		ロータリーマルチセクターの▼を押すと、一時停止します。
再生を再開する		一時停止中または早送り/巻き戻し中に $\odot$ ボタンを押すと、パノラマ再生を再開します。
巻き戻しする/ 早送りする		再生中に◀を押すと巻き戻し、▶を押すと早送りします。
コマ戻しする/ コマ送りする		- 一時停止中に◀▶を押すと、コマ戻し/コマ送りします。 ◀▶を押し続けると連続でコマ戻し/コマ送りします。 - ロータリーマルチセクターを回しても、コマ戻し/コマ送りできます。
再生を終了する		▲または▶ボタンを押すと、1コマ表示モードに戻ります。

【セレクトカラー】で撮影する

画像の特定の色だけを残し、他の部分を白黒にします。

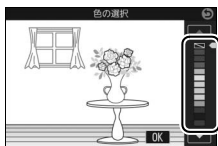
1 「色の選択」を選ぶ

- **F**（フィーチャー）ボタンを押して**F**メニューを表示し、「色の選択」を選んで**OK**ボタンを押します。



2 残したい色を選ぶ

- ロータリーマルチセクターで残したい色を選び、**OK**ボタンを押して決定します。



3 撮影する

- シャッターボタンを全押しすると、選んだ色だけを残して撮影します。

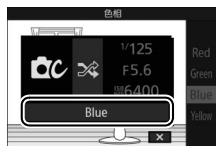


[クロスプロセス] で撮影する

特定の色を基調にして、通常と異なる色合いの画像にします。

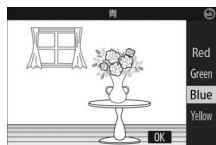
1 [色相] を選ぶ

- **F**（フィーチャー）ボタンを押して**F**メニューを表示し、**[色相]**を選んで**OK**ボタンを押します。



2 基調にする色を選ぶ

- ロータリーマルチセクターで基調にする色を赤、緑、青、黄から選び、**OK**ボタンを押して決定します。



3 撮影する

- シャッターボタンを全押しすると、通常と異なる色合いで撮影します。



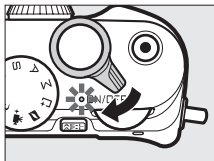
動画を撮影する/再生する

動画を撮影する

動画撮影ボタンを押すことで動画を撮影できます。

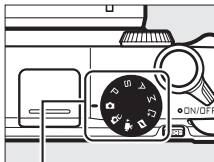
1 カメラの電源をONにする

- 電源スイッチを回して、カメラの電源をONにします。



2 撮影モードダイヤルで撮影モードを選ぶ

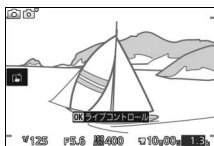
- 「」(オートモード)、「」(クリエイティブモード)、「」(アドバンスト動画)、P、S、A、Mモードのいずれかを選びます (□51)。
- アドバンスト動画モードを選んだ場合は、メニューの「アドバンスト動画」で動画の種類を選びます (□52)。



撮影モードダイヤル

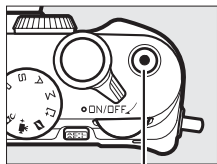
3 カメラを構えて構図を決める

- 被写体を画面の中央付近に配置します。
- アドバンスト動画モードで「スローモーション」(□52)を選んだ場合は、シャッターボタンを半押しして被写体にピントを合わせます。



4 動画撮影ボタンを押して、撮影を始める

- 動画撮影中は、録画中マークと経過時間が液晶モニターに表示されます。メモリーカードに記録できる残り時間の目安も確認できます。



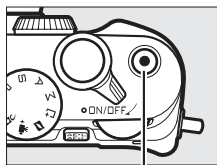
動画撮影ボタン

録画中マーク/経過時間



残り時間

5 もう一度動画撮影ボタンを押して、撮影を終了する



動画撮影ボタン

■ 動画が撮影できる撮影モード

📷 オートモード (□32)

カメラが撮影シーンや被写体を自動的に判別し、最適な設定で動画撮影します。カメラまかせて動画を撮影したい場合に便利です。

📷 クリエイティブモード (□40)

動画撮影時は撮影モードPで動画を撮影します。[クリエイティブリング] (□42) の場合は、撮影する動画にも効果が付加されます。

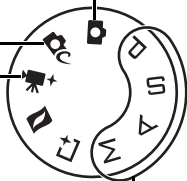
📷 アドバンスド動画モード (□52)

露出モード (□100) を設定してシャッタースピードや絞り値を変更したり、スローモーションや早送り動画などの特殊な効果を付けた動画を撮影したりできます。

P、S、A、Mモード (□58)

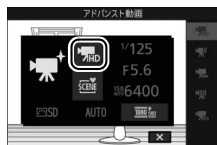
S、A、Mモードに設定していても、Pモードで動画を撮影します。露出モードを設定して動画を撮影したい場合は、アドバンスド動画モード (□52) をお使いください。

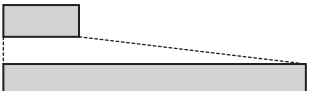
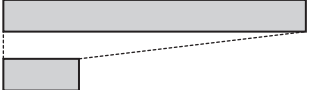
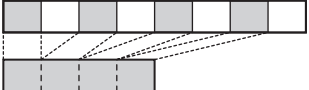
- ベストモーメントキャプチャーモードとモーションスナップショットモードでは、動画を撮影できません。



■ アドバンスト動画モードを変更する

アドバンスト動画モード時に、**F**（フィーチャー）ボタンを押して**F**メニューを表示し、**[アドバンスト動画]**を選ぶと、撮影する動画の種類を選べます。

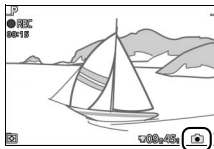


 HD動画	HD（High-Definition）動画を撮影します。
 スロー モーション※	スローモーション動画を撮影できます。400コマ/秒の高速で記録した動画を約30コマ/秒で再生します。最大約3秒間撮影できます。 撮影 
 早送り動画※	4倍速の早送り動画を撮影できます。再生時は、撮影時の4分の1の時間で再生します。 撮影 
 ジャンプカット※	動画撮影時に、1秒間ごとに「記録する」と「記録しない」の動作を繰り返して、意図的にコマ落ちたような動画を撮影します。 撮影 
 4秒動画	記録時間が4秒の動画を撮影します。撮影した動画は再生メニューの[4秒動画結合]で1つに結合できます（□97）。

※ 音声は記録されません。

動画の撮影中に静止画を撮影する

シャッターボタンを全押しすると、静止画を撮影します（アスペクト比（横：縦）は3：2）。静止画を記録している間も、動画撮影は継続します。

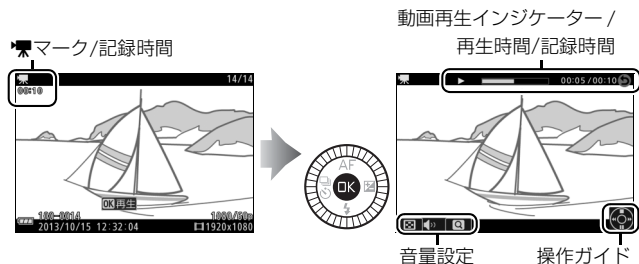


動画撮影中の静止画撮影について

- 1回の動画撮影中に撮影できる静止画は、最大20コマです。
- スローモーション動画撮影中は、静止画撮影できません。

撮影した動画を再生する

撮影した動画は、1コマ表示モード（□36）でⓀボタンを押して再生します（📌マークが表示されている画像が動画です）。



• 動画再生時には次の操作を行います。

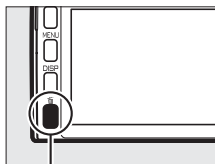
一時停止する		ロータリーマルチセレクトターの▼を押すと、一時停止します。
再生を再開する		一時停止中または早送り/巻き戻し中にⓀボタンを押すと、動画再生を再開します。
巻き戻しする/ 早送りする		再生中に◀を押すと巻き戻し、▶を押すと早送りします。同じ方向のボタンを押すごとに、巻き戻し/早送りの速度が2倍、4倍、8倍、16倍に切り替わります。
コマ戻しする/ コマ送りする		- 一時停止中に◀▶を押すと、コマ戻し/コマ送りします。 ◀▶を押し続けると連続でコマ戻し/コマ送りします。 - ロータリーマルチセレクトターを回しても、コマ戻し/コマ送りできます。

音量を調節する		メインコマンドダイヤルを左右に回すと音量を調節できます。
再生を終了する		▲または▶ボタンを押すと、1コマ表示モードに戻ります。

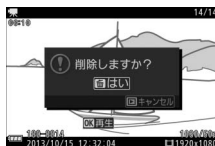
動画を削除する

動画の表示中に  ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。もう一度  ボタンを押すと、動画を削除します。削除した画像は元には戻せないのご注意ください。

- 削除をやめるには、▶ボタンを押します。

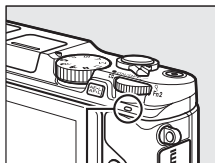


 ボタン



✓ 音声再生時のご注意

音声再生中はスピーカーを指などでふさがないようにしてください。音声が届かなくなることがあります。



スピーカー

✓ 動画撮影時のご注意

- 動画撮影中の液晶モニターの表示に、次のような現象が発生する場合があります。これらの現象は撮影した動画にも記録されます。
 - 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、画面にちらつきや横縞が発生する
 - 電車や自動車など、高速で画面を横切る被写体が歪む
 - カメラを左右に動かした場合、画面全体が歪む
 - カメラを動かした場合、照明などの明るい部分に残像が発生する
 - ジャギー、偽色、モアレ、輝点が発生する
- 次のような場合は、動画撮影は自動的に終了します。
 - 最長記録時間に達した場合（□□57）
 - メモリーカードの残量がなくなった場合
 - レンズを取り外した場合
 - 撮影モードを切り換えた場合
 - カメラが熱くなった場合（□□xvi）
- 動画撮影時、太陽など強い光源にカメラを向けないでください。内部の部品が破損するおそれがあります。
- マイク（□□2）を指などでふさがないようにしてください。音声記録できない場合があります。
- カメラの動作音や操作音が録音されることがあります。
- 動画撮影時またはアドバンスド動画モードに設定している場合、フラッシュは発光しません。

🔧 フリッカー低減について

- 蛍光灯や水銀灯などの光源下では、撮影するときの表示や撮影する動画にちらつきや横縞が生じることがあります。この現象を「フリッカー現象」といいます。セットアップメニューの「フリッカー低減」を、カメラをお使いになる地域の電源周波数に合わせて、「50Hz」または「60Hz」に設定してください。
- セットアップメニューの「フリッカー低減」の設定によって、シャッタースピードの低速側の制限が異なります。「50Hz」の場合は1/100秒、「60Hz」の場合は1/60秒より速いシャッタースピードになります。
- スローモーション動画撮影中は、フリッカー低減効果は得られません。

📷 動画撮影について

- スローモーション以外の動画の場合、撮影中は被写体にピントを合わせ続けます。ピントを合わせる動作音が気になる場合は、フォーカスモードを **[AF-S]** にして撮影してください (□□100)。
- スローモーション動画の場合、画面中央のAFエリア内の被写体にピントが合います。顔認識 (□□35) は行いません。
- スローモーション動画の撮影中は、露出やピントを変更できません。
- 使用しているメモリーカードの書き込み速度によっては、最長記録時間に満たないで撮影が自動的に終了する場合があります (□□110)。
-  (動画記録禁止) マークが表示されているときは、動画撮影できません。
- 1つの動画ファイルで記録可能な最大ファイルサイズは4GBです。

📷 最長記録時間について

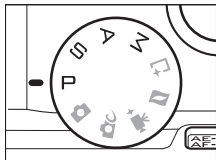
動画のサイズ/フレームレートが初期設定の場合、最長記録時間は次の通りです。

オートモード、クリエイティブモード、 P、S、A、Mモード	約10分
アドバンスド動画モード	
HD動画	約10分
スローモーション	約3秒
早送り動画	約20分
ジャンプカット	約20分
4秒動画	約4秒



P、S、A、Mモードで撮影する

P、S、A、Mモードでは、撮影の意図に応じて、シャッタースピードや絞り値を自分で設定したり、カメラまかせにしたりすることができます。



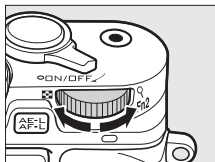
PS
AM

P プログラムオート

シャッターチャンスを見逃したくないスナップなど幅広い撮影に適しています。被写体の明るさに応じて露出が適正になるように、カメラがシャッタースピードと絞り値を自動的に決定します。同じ露出でシャッタースピードと絞り値の組み合わせを変える「プログラムシフト」も行えます。

プログラムシフト

撮影モードPでは、カメラがシャッタースピードと絞り値を決めますが、メインコマンドダイヤルを回して「プログラムシフト」を行うと、適正露出のまま、シャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えられます。プログラムシフト中は液晶モニターに★マークが点灯します。



メインコマンドダイヤル

露出モードがP、S、A、Mの場合のISO感度について

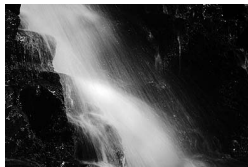
[ISO感度設定] (□101) を [オート160-6400]、[オート160-3200] または [オート160-800] に設定すると、シャッタースピードと絞り値で適正露出が得られない場合には、設定した範囲内でカメラが自動的にISO感度を選びます。

S シャッター優先オート

シャッタースピードを自分で決めると、露出が適正になるようにカメラが自動的に絞り値を決定します。動きの速い被写体の撮影や、遅いシャッタースピードで被写体の動きを強調する撮影に適しています。



速いシャッタースピードのとき
シャッタースピード：1/1600秒

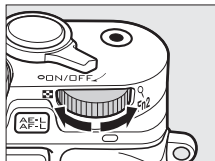


遅いシャッタースピードのとき
シャッタースピード：1秒

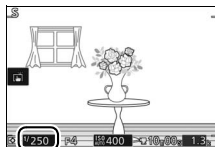
PS
AM

■ シャッタースピードを設定する

- メインコマンドダイヤルを右に回すとシャッタースピードが速くなり、左に回すとシャッタースピードが遅くなります。
- シャッタースピードは、1/4000秒～30秒の範囲で設定できます。[サイレント撮影]を[する]に設定している場合(□101)、シャッター方式がエレクトロニックシャッターになり、1/16000秒～30秒の範囲で設定できます。連続撮影速度(□76)が $\frac{1}{10}$ 、 $\frac{1}{20}$ 、 $\frac{1}{30}$ 、または $\frac{1}{60}$ の場合は、[サイレント撮影]の設定にかかわらず、1/16000秒～1/60秒の範囲になります。



メインコマンドダイヤル



🔍 連写時のシャッタースピードについて

連続撮影速度(□76)が $\frac{1}{10}$ 、 $\frac{1}{20}$ 、 $\frac{1}{30}$ 、または $\frac{1}{60}$ の場合、設定したシャッタースピードが変更される場合があります。

A 絞り優先オート

絞り値を自分で決めると、露出が適正になるようにカメラが自動的にシャッタースピードを決定します。絞りを開く（絞り値を小さくする）と、背景をぼかしてメインとなる被写体を浮き立たせた写真を撮影できます（例：ポートレート写真）。絞りを絞り込む（絞り値を大きくする）と、近くから遠くまでピントのあった写真を撮影できます（例：風景写真）。



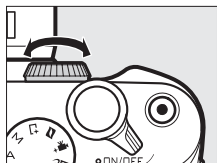
絞りを開いたとき
（絞り値が小さいとき）
絞り値：F5.6



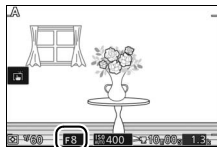
絞りを絞り込んだとき
（絞り値が大きいとき）
絞り値：F16

■ 絞り値を設定する

- サブコマンドダイヤルまたはロータリーマルチセクターを回すと絞りを調節できます。
- 設定できる最小絞り、開放絞りはレンズによって異なります。



サブコマンドダイヤル



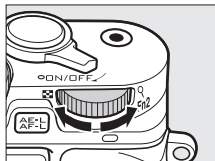
M マニュアル

シャッタースピードと絞り値の両方を自分で決定します。花火や星空などを長時間露出（バルブ）撮影する場合にもこのモードを使います。

■ 露出インジケータ（ 62）を確認しながら、シャッタースピードと絞り値を設定する

シャッタースピードの設定：

- メインコマンドダイヤルを右に回すとシャッタースピードが速くなり、左に回すとシャッタースピードが遅くなります。
- シャッタースピードは、1/4000秒～30秒またはBulbの範囲で設定できます。[サイレント撮影]を[する]に設定している場合（ 101）、シャッター方式がエレクトロニックシャッターになり、1/16000秒～30秒またはBulbの範囲で設定できます。連続撮影速度（ 76）が10、20、30、または60の場合は1/16000秒～1/60秒の範囲になります。

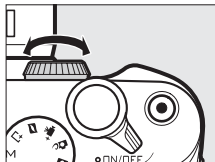


メインコマンドダイヤル

PS
AM

絞り値の設定：

- サブコマンドダイヤルまたはロータリーマルチセクターを回すと絞りを調節できます。
- 設定できる最小絞り、開放絞りはレンズによって異なります。



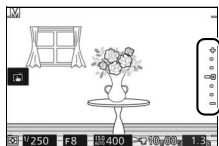
サブコマンドダイヤル

連写時のシャッタースピードについて

連続撮影速度（ 76）が10、20、30、または60の場合、設定したシャッタースピードが変更される場合があります。

露出インジケータについて

設定したシャッタースピードと絞り値の組み合わせによる露出値と、カメラが測光した露出値との差が、液晶モニターに表示されます。この「露出インジケータ」の見方は次の通りです。



適正露出	1/3段アンダー	2段以上オーバー
+ . . -0 . . -	+ . . -0 . . -	+ -0 . . -

- 長時間露出（バルブ、タイム）撮影時は、露出インジケータは表示されません。

さらに撮影を楽しむ

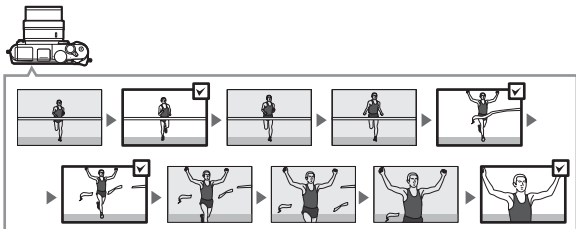
シャッターチャンスが難しいシーンの撮影に適した「ベストモーメントキャプチャーモード」、静止画撮影時に短い動画も一緒に撮影できる「モーションスナップショットモード」(□72)で撮影できます。

□ベストショットを撮影する (ベストモーメントキャプチャー)

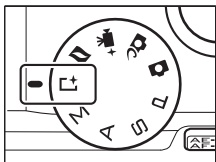
一時的に記録した40コマの静止画から画像を選べる「お気に入りフォト選択」、ゆっくりと連続表示される静止画の中からベストショットを選べる「スロービュー」(□66)、動きや構図が最適な画像をカメラが自動で選ぶ「スマートフォトセレクト」(□68)を選んで撮影できます。

残したい画像を自分で選ぶ (お気に入りフォト選択)

シャッターボタンを全押しした前後に一時的に記録した40コマの静止画から、最大40コマの画像を選択して保存できます。



1 撮影モードダイヤルをCに合わせる



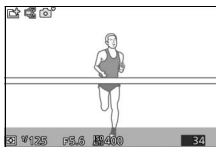
2 「お気に入りフォト選択」を選ぶ

- **F**（フィーチャー）ボタンを押して**F**メニューを表示し、[ベストモーメントキャプチャー]を選んで**OK**ボタンを押します。
- ロータリーマルチセレクターで「お気に入りフォト選択」を選び、**OK**ボタンを押します。



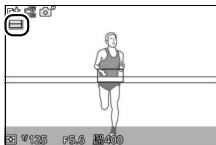
3 カメラを構えて構図を決める

- 被写体を画面の中央付近に配置します。



4 シャッターボタンを半押しして、シャッターチャンス待つ

- 被写体に自動的にピントが合います (□33)。
- シャッターボタンの半押し中は、カメラが先取り撮影を行います（液晶モニターにアイコンが表示されます）。



5 シャッターチャンスが来たら、 シャッターボタンを全押しして撮影 する

- シャッターがきれ、シャッターボタン全押し前後の40コマの静止画がカメラに一時的に記録されます。



6 保存する静止画を選ぶ

- ロータリーマルチセクターの◀▶を押すか、ロータリーマルチセクターを回して保存したい静止画を表示します。
- ▲▼を押して保存する静止画の選択/非選択を設定します（選択した静止画には👁️アイコンが表示され、選択しない静止画には🗑️アイコンが表示されます）。
- 最大40枚まで選択できます。



7 選んだ静止画を記録する

- 📁 ボタンを押すと、選択した静止画のみをメモリーカードに記録します。

🔍 お気に入りフォト選択について

- 初期設定では、シャッターボタン全押しのタイミングで撮影した1コマに、自動的に👁️アイコンが付加されています。
- メモリーカードの性能や撮影条件によっては、記録に時間がかかる場合があります。記録中は、メモリーカードアクセスランプが点灯し続けます（📄34）。

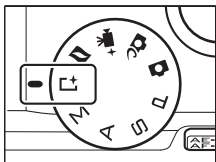
🔍 ベストモーメントキャプチャーモードについて

- 動画撮影ボタンを押しても、動画は撮影できません。
- フラッシュは発光しません。

シャッターチャンスをじっくり選ぶ (スロービュー)

動きのあるシーンでも液晶モニター上でゆっくりと表示されるため、決定的な瞬間を逃さずに撮影できます。

1 撮影モードダイヤルを□に合わせる



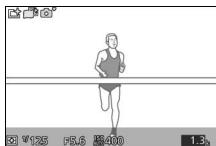
2 [スロービュー] を選ぶ

- **F**（フィーチャー）ボタンを押して**F**メニューを表示し、[ベストモーメントキャプチャー]を選んで**OK**ボタンを押します。
- ロータリーマルチセレクターで「スロービュー」を選び、**OK**ボタンを押します。



3 カメラを構えて構図を決める

- 被写体を画面の中央付近に配置します。

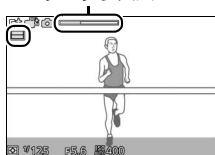


4 撮影する

- シャッターボタンを半押しして、被写体にピントを合わせます。ピントが合うと40コマの静止画を一時的に記録し、半押ししている間、ゆっくりと繰り返し連続表示します（液晶モニターにアイコンが表示されます）。



スロービュー
プログレスバー



- 保存したい静止画のところでシャッターボタンを全押しすると、全押ししたときの静止画だけが記録されます。一時記録されていた静止画は削除されます。
- 撮影が終了すると、撮影した画像が液晶モニターに数秒間、表示されます。
- シャッターボタンを全押しせずに指を放すと、静止画を記録せずに撮影画面に戻ります。一時記録されていた静止画も削除されます。



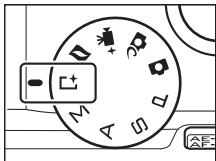
ベストショットをカメラが選ぶ (スマートフォトセレクト)

振り向きざまの笑顔やパーティーでの集合写真など、ベストショットの静止画をカメラまかせて気軽に撮影できます。

- シャッターをきると、動きや構図が最適な画像をカメラが自動で選びます。初期設定では、ベストショットと候補の合計5コマの静止画が記録されます。



1 撮影モードダイヤルを□に合わせる



2 [スマートフォトセレクト] を選ぶ

- [F] (フィーチャー)** ボタンを押して**[F]** メニューを表示し、**[ベストモーメント キャプチャー]** を選んで**[OK]** ボタンを押します。
- ロータリーマルチセクター** で **[スマートフォトセレクト]** を選び、**[OK]** ボタンを押します。



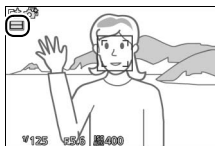
3 カメラを構えて構図を決める

- 被写体を画面の中央付近に配置します。



4 シャッターボタンを半押しして、シャッターチャンス待つ

- 被写体に自動的にピントが合います (□33)。
- シャッターボタンの半押し中は、カメラが先取り撮影を行います (液晶モニターにアイコンが表示されます)。
- シャッターボタンを半押ししている間、カメラは被写体の動きに合わせてピントを合わせ続けます。



5 シャッターチャンスが来たら、シャッターボタンを全押しして撮影する

- シャッターがきれ、シャッターボタン全押しの前後に撮影したベストショットと候補の静止画をカメラが選んで、合計5コマ記録します。
- 画像の記録に時間がかかる場合があります。
- 撮影が終了すると、ベストショットの1コマが液晶モニターに数秒間表示されます。



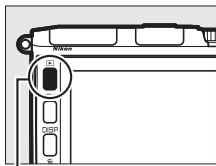
スマートフォトセレクトについて

常にカメラが撮影シーンや被写体を自動的に判別して最適な設定で撮影します。

■ 撮影したスマートフォトセクター画像を確認する

▶ボタンを押して1コマ表示モード (📺36) で画像を再生し、ロータリーマルチセクターでスマートフォトセクター画像を選びます (📷マークが表示されている画像です)。撮影した5コマの画像のうち、ベストショットのみが表示されます。

- ベストショット候補の画像は表示されません。そのため、画像を切り換えるときに、コマ番号が抜けているように見えます。
- 撮影に戻るには、シャッターボタンを半押ししてください。



▶ボタン



ベストショットを自分で選ぶ

スマートフォトセクター画像を表示して、Ⓚボタンを押すと、ベストショットの切り換え画面が表示されます。

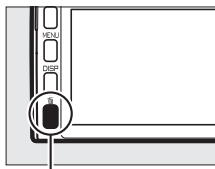
- ◀▶を押すと、ベストショット候補の画像を表示できます。
- 画像を選んで Ⓚボタンを押すと、選んだ画像がベストショットとして表示されます。
- ベストショットの切り換えをやめるには ▶ボタンを押します。



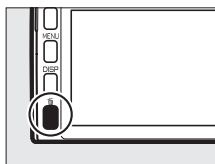
■ スマートフォトセレクト画面を削除する

スマートフォトセレクト画面を表示して、 ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。もう一度  ボタンを押すと、スマートフォトセレクト画面を削除して、再生画面に戻ります。削除した画像は元には戻せないの
でご注意ください。

- ベストショットとベストショット候補の画像が削除されます。
- 削除をやめるには、 ボタンを押します。



スマートボタン



ベストショット以外の画像の削除について

ベストショットの切り換え画面 () で  ボタンを押すと、右のような画面が表示されます。次のいずれかを選んで  ボタンを押します。

- **[この画像]**：表示中の画像が削除されます（ベストショットが表示されている場合は削除できません）。
- **[ベストショット以外]**：ベストショット候補の画像が削除されます。

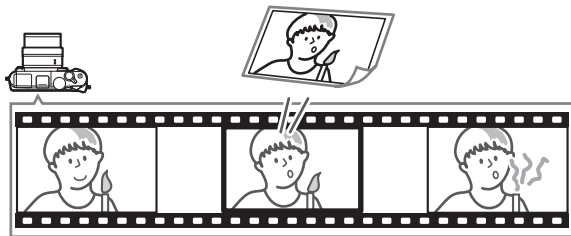


確認画面で **[はい]** を選んで  ボタンを押すと、選んだ画像を削除して再生画面に戻ります。

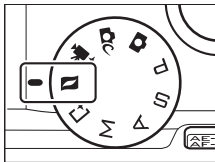
静止画と短い動画を一緒に撮影する (モーションスナップショット)

モーションスナップショットモードは、静止画撮影時に短い動画も一緒に残したいときに適しています。

- シャッターをきると、静止画と約 1.6 秒間の動画を撮影します。モーションスナップショット画像を再生すると、始めに動画がスローモーションで約4秒間再生され、続いて静止画が表示されます。



1 撮影モードダイヤルを [M] に合わせる



2 カメラを構えて構図を決める

- 被写体を画面の中央付近に配置します。



3 シャッターボタンを半押しする

- 被写体に自動的にピントが合います (□33)。
- シャッターボタンの半押し中は、カメラが先取り撮影を行います (液晶モニターにアイコンが表示されます)。



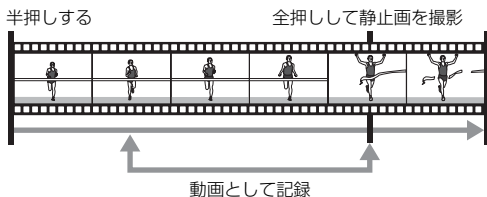
4 シャッターボタンを全押しして撮影する

- 静止画と同時に、シャッターボタン全押しの前後約1.6秒間の動画を記録します。
- 画像の記録に時間がかかる場合があります。
- 撮影が終了すると、撮影した画像が液晶モニターに数秒間、表示されます。



📺 動画の最後の場面を静止画として撮影する

撮影メニューの【動画の前後比率】(□98) を【1.6秒：0秒】に設定すると、動画の最後の場面を静止画として撮影できます。



■「音声」を選ぶ

F（フィーチャー）メニューで「音声」を選ぶと、モーションスナップショットの動画に記録する音声を「BGM」、「環境音」（撮影時の音声）、「なし」から選べます。



- ロータリーマルチセクターで項目を選び、**OK** ボタンを押して決定します。
- 「環境音」に設定した場合は、動画の記録開始から約4秒間の音声を記録します。



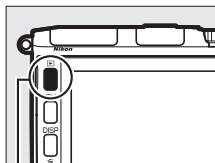
モーションスナップショットモードについて

- 動画撮影ボタンを押しても、動画は撮影できません。
- フラッシュは発光しません。

撮影したモーションスナップショット画像を確認する

▶ボタンを押して1コマ表示モード(□36)で画像を再生し、ロータリーマルチセレクターでモーションスナップショット画像を選びます(▶マークが表示されている画像です)。

- OK ボタンを押すと、動画がスローモーションで約4秒間再生され、続いて静止画が表示されます。モーションスナップショット画像の再生中は、[音声] (□74) で設定した音が流れます。
- 撮影に戻るには、シャッターボタンを半押ししてください。



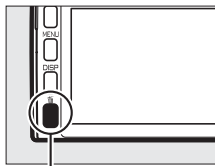
▶ボタン



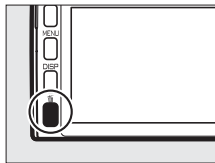
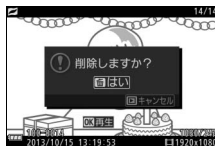
モーションスナップショット画像を削除する

モーションスナップショット画像を表示し、⏏ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。もう一度⏏ボタンを押すと、モーションスナップショット画像を削除して、再生画面に戻ります。削除した画像は元には戻せないのご注意ください。

- 静止画と動画の両方が削除されます。
- 削除をやめるには、▶ボタンを押します。



⏏ボタン



撮影の便利な機能

連写で撮影する

連写（連続撮影）で撮影できます。

- 1** ロータリーマルチセクターの
📷（連写/セルフタイマー）を押す

• 液晶モニターにメニューが表示されます。



- 2** ロータリーマルチセクターで📷
（連写）を選び、▶を押す

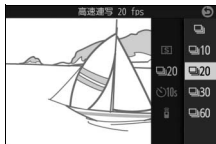
• 連続撮影速度の選択画面が表示されます。



- 3** 連続撮影速度を選び、ⓄK ボタンを
押す

• 📷（約6コマ/秒）、📷10（約10コマ/秒）、📷20（約20コマ/秒）、📷30（約30コマ/秒）、📷60（約60コマ/秒）から連続撮影速度を選べます。

• 連続撮影速度が📷（約6コマ/秒）以外の場合、連続撮影可能コマ数は40コマに固定されます。



- 4** 構図を決めて撮影する

• シャッターボタンを深く押し込んで
（全押しして）連続撮影します。



▼ 連写（連続撮影）についてのご注意

- 連続撮影速度を  に設定している場合、フラッシュが発光するときは単写として動作します。
- 連続撮影速度が  10、 20、 30、または  60 の場合、フラッシュは発光しません。
- 連続撮影速度を  に設定している場合はメカニカルシャッター、 10、 20、 30 または  60 に設定している場合はエレクトロニックシャッターで撮影します。ただし、[サイレント撮影]（□□101）を [する] に設定している場合は、連続撮影速度の設定にかかわらずエレクトロニックシャッターで撮影されます。
- 次の場合は連写を選べません。
 - オートモードまたは **P**、**S**、**A**、**M** モード以外の撮影モードの場合
 - オートモードでライブコントロール機能（□□38）を設定している場合
- 連続撮影が終了しても、メモリーカードの性能や撮影条件によっては、記録に時間がかかる場合があります。記録中は、メモリーカードアクセスランプが点灯し続けます（□□34）。
- 連続撮影中にバッテリーの残量がなくなった場合は、連続撮影は中止され、撮影済みの画像データがメモリーカードに記録されます。

🔧 [S] 1コマ撮影

連写を解除して1コマ撮影するには、撮影画面でロータリーマルチセクターの （連写/セルフタイマー）を押して、**[S]**（単写）を選びます。



セルフタイマーを使って撮影する

シャッターボタンを全押しした後、設定した時間が過ぎると、自動的にシャッターがきれます。

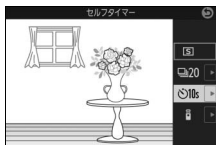
1 ロータリーマルチセクターの ☺ (連写/セルフタイマー) を押す

- 液晶モニターにメニューが表示されます。

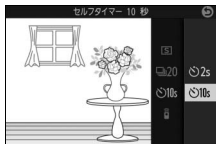


2 ロータリーマルチセクターで☺ (セルフタイマー) を選び、▶を押す

- セルフタイマー時間の選択画面が表示されます。



3 ☺10s (約10秒)、☺2s (約2秒) の いずれかを選び、OK ボタンを押す



4 構図を決める

- 撮影を始める前に、三脚などで固定してください。

5 撮影を始める

- シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてから、全押ししてください。タイマーが作動し、電子音が鳴り始め、セルフタイマーランプが点滅します。撮影2秒前になると点滅から点灯に変わり、電子音が鳴る間隔が短くなります。
- ピントが合っていないときなど、カメラのシャッターがきれない状態ではタイマーは作動しません。



6 シャッターがきれる

- シャッターボタンを全押ししてから、選んだセルフタイマーの時間が過ぎると、シャッターがきれます。



🔪 動画のセルフタイマー撮影について

セルフタイマーで動画を撮影するには、撮影モードをアドバンスド動画モードに設定してください。シャッターボタンの代わりに動画撮影ボタンを押すと、セルフタイマーが作動します。もう一度動画撮影ボタンを押すと、動画の撮影を終了します。

🔪 セルフタイマー撮影時のフラッシュについて

内蔵フラッシュを使ってセルフタイマー撮影をしたいときは、撮影を開始する前にフラッシュポップアップボタンを押して内蔵フラッシュを上げてください。セルフタイマーの作動中に内蔵フラッシュを上げると、撮影は中止されます。

🔪 セルフタイマーの解除について

電源をOFFにすると、セルフタイマーは解除されます。

リモコンを使って撮影する

リモコン撮影には、別売のリモコンML-L3 (㊦109) が必要です。

1 ロータリーマルチセレクターの ㊦ (連写/セルフタイマー) を押す

- 液晶モニターにメニューが表示されます。



2 ロータリーマルチセレクターで ㊦ (リモコン) を選び、▶を押す

- リモコン作動時間の選択画面が表示されます。



3 ㊦ (リモコン瞬時) または ㊦ 2s (リモコン2秒) を選び、OK ボタンを押す

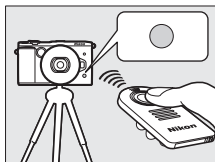


4 構図を決める

- 撮影を始める前に、三脚などで固定してください。

5 撮影を始める

- リモコン送信部をカメラの前面にあるリモコン受光部 (㊦2) に向け、送信ボタンを押してください。カメラから5m以内の距離で操作してください。
- 手順3で ㊦ (リモコン瞬時) または ㊦ 2s (リモコン2秒) を選んでから、リモコン撮影をしないまま約10分間の受信待機時間が経過すると、リモコンモードが解除されます。



6 シャッターがきれる

- 手順3で  (リモコン瞬時) に設定している場合は、すぐにシャッターがきれ、撮影後にセルフタイマーランプが一瞬点灯します。
- 手順3で  2s (リモコン2秒) に設定している場合は、セルフタイマーランプが約2秒間点灯してからシャッターがきれます。
- ピントが合っていないときなど、カメラのシャッターがきれない状態では撮影できないことがあります。

リモコンML-L3を初めてお使いになるときのご注意

リモコンにはさんである透明の絶縁シートを引き抜いてください。

動画撮影時のリモコン撮影について

アドバンスド動画モード (□49) のときのみML-L3のシャッターボタンが動画撮影ボタンとして機能します。

リモコン撮影時のフラッシュについて

- 内蔵フラッシュを使って撮影したいときは、撮影を開始する前にフラッシュポップアップボタンを押して内蔵フラッシュを上げてください。手順3で  2s (リモコン2秒) に設定してリモコンの送信ボタンを押した後に内蔵フラッシュを上げると、撮影は中止されます。
- リモコンの受信待機状態になるとフラッシュの充電が始まり、充電完了後にリモコンの送信ボタンを押すと発光します。フラッシュの充電中にリモコンの送信ボタンを押しても、カメラは反応しません。
- 手順3で  (リモコン瞬時) に設定している場合、赤目軽減発光 (□83) を組み合わせたフラッシュモードでは、赤目軽減ランプが約1秒間点灯してからシャッターがきれます。 2s (リモコン2秒) に設定している場合、セルフタイマーランプが約2秒間点灯した後、赤目軽減のために赤目軽減ランプが約1秒間点灯してからシャッターがきれます。

リモコンモードの解除について

電源をOFFにすると、リモコンモードは解除されます。

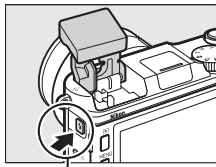


内蔵フラッシュについて

内蔵フラッシュを使うと、暗い場所や逆光下など、さまざまな場所での撮影を楽しむことができます。

- カメラの設定によっては内蔵フラッシュが発光しない場合があります。

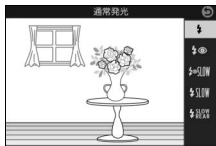
1 フラッシュポップアップボタンを押して、内蔵フラッシュを上げる



フラッシュポップアップボタン

2 フラッシュモードを設定する

- ロータリーマルチセレクターの⚡（フラッシュモード）を押してから、ロータリーマルチセレクターでフラッシュモードを選び、**OK** ボタンを押します。



3 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせてから撮影する



■ 設定できるフラッシュモード

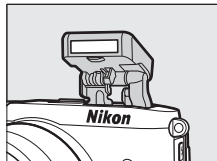
設定できるフラッシュモードは次の通りです。

フラッシュモード	撮影モード※
⚡ 通常発光 ：撮影のたびにフラッシュが発光します。	、、、、、
⚡👁️ 赤目軽減発光 ：人物撮影に適しています。フラッシュが発光する前に、赤目軽減ランプが点灯して、人物の目が赤く写る「赤目現象」を軽減します。	、、 P、S、A、M
⚡👁️ SLOW 赤目軽減+スローシャッター ：赤目軽減発光に加え、背景をきれいに写すために、自動的にシャッタースピードを遅くする「スローシャッター」が行われます。夜景や夕景をバックにした人物撮影などに適しています。	P、A
⚡ SLOW 通常発光+スローシャッター ：通常発光に加え、背景をきれいに写すために、自動的にシャッタースピードを遅くする「スローシャッター」が行われます。	
⚡ SLOW REAR 後幕発光+スローシャッター ：後幕発光に加え、背景をきれいに写すために、自動的にシャッタースピードを遅くする「スローシャッター」が行われます。	
⚡ REAR 後幕発光 ：通常発光時はシャッターが開くと同時にフラッシュが発光します（先幕発光）が、後幕発光ではシャッターが閉じる直前にフラッシュが発光します。動いている被写体の後方に流れる光や軌跡などを表現したい場合などに適しています。	S、M
 先幕発光  後幕発光	

※ =オート、=ソフト、=ミニチュア効果、=セレクトカラー、=クロスポリッシュ、=トイカメラ風

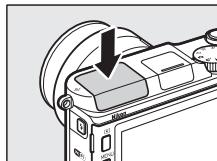
▼ 内蔵フラッシュのポップアップ

内蔵フラッシュを上げるときは、フラッシュが図のように上がっていることを確認してください。フラッシュを使用して撮影する場合は、フラッシュに触れないようにご注意ください。



✎ 内蔵フラッシュの収納

内蔵フラッシュを収納するときは、カチッと音がするまで手で軽く押し下げます。バッテリーの消耗を防ぐため、フラッシュを使わないときは常に収納してください。



✎ レディーライトについて

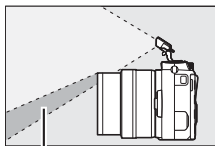
フラッシュの充電が完了している場合にシャッターボタンを半押しすると、液晶モニターにレディーライト (⚡) が点灯します。



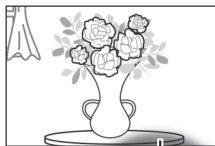
▼ 内蔵フラッシュについてのご注意

- 内蔵フラッシュは無理に押し下げないでください。故障の原因となります。
- 内蔵フラッシュを連続して使うと、発光部を保護するために、一時的に発光が制限され、シャッターがきれなくなる場合があります。少し時間をおくと再び使えるようになります。
- 高いISO感度で近くの被写体を撮影する場合は、白とびが発生することがあります。
- 赤目軽減発光モードに設定している場合、レンズの種類によっては、赤目軽減ランプの光がさえぎられ、フラッシュ撮影時に十分な赤目軽減効果が得られないことがあります。
- ケラレを防止するために、レンズのフードは取り外して使用してください。
- 撮影距離0.6 m以上で使用してください。
- 使用するレンズや撮影距離によっては、フラッシュのケラレが発生することがあります。

ケラレとは、内蔵フラッシュの光がレンズの先端でさえぎられて影になり、写真に写りこむ現象です。



ケラレ



ケラレ

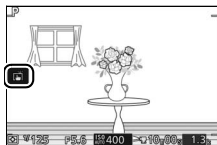
🔍 内蔵フラッシュの調光範囲（光の届く範囲）

内蔵フラッシュはISO感度と絞り値によって調光範囲（光の届く範囲）が異なります。



タッチ撮影機能について

撮影画面で右図のアイコンにタッチすると、タッチ撮影の機能を切り換えられます。切り換えられる機能は撮影モードやフォーカスモードによって異なります。



オートモードとクリエイティブモード



タッチした位置でピント合わせを行い、シャッターがきれます。



タッチ撮影の機能が無効になります。

P、S、A、Mモード

■ フォーカスモードが [AF-A]、[AF-S]、[AF-C] の場合



タッチした位置でピント合わせを行い、シャッターがきれます。



タッチした位置にAFエリアを移動します。ピント合わせを行うには、シャッターボタンを半押ししてください。

- AFエリアモードが [シングルポイント] のときに選べます。



ターゲット追尾で撮影するとき、タッチした被写体を追尾してピントを合わせ続けます。

- AFエリアモードが [ターゲット追尾] のときに選べます。



タッチ撮影の機能が無効になります。

☑ タッチ撮影機能についてのご注意

ベストモーメントキャプチャーモードおよびモーションスナップショットモードのときは、タッチ撮影機能は使用できません。

■ フォーカスモードが [MF] の場合

	タッチすると、ピント合わせを行わずにシャッターがきれます。
	タッチした位置を中心に拡大表示します。
	タッチ撮影の機能が無効になります。

■ アドバンスト動画モード

■ フォーカスモードが [AF-F]、[AF-S] の場合

	タッチした位置でピント合わせを行います。 AF エリアモードが [オートエリア] または [シングルポイント] のときに選べます。
	ターゲット追尾で撮影するときに、タッチした被写体を追尾してピントを合わせ続けます。 AF エリアモードが [ターゲット追尾] のときに選べます。
	タッチ撮影の機能が無効になります。



■ フォーカスモードが [MF] の場合

	タッチした位置を中心に拡大表示します。
	タッチ撮影の機能が無効になります。

☑ タッチ操作で撮影するときのご注意

- タッチするときに力を入れすぎると、カメラが動いて画像がブレる（手ブレする）ことがあります。
-  に設定していても、シャッターボタンを押して撮影できます。
- 動画撮影中は、画面をタッチしても静止画は撮影できません。
- 連写 ( 76) に設定していても1コマしか撮影されません。連続撮影するには、シャッターボタンを押して撮影してください。
- セルフタイマー ( 78) 設定時は、画面の被写体をタッチするとピントが固定され、10秒または2秒後にシャッターがきれます。

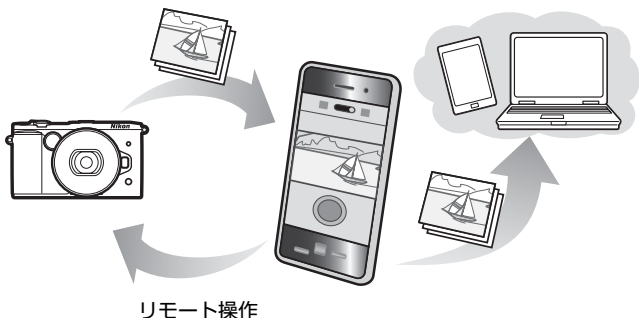
Wi-Fiを使う

Wi-Fiを使ってできること

このカメラは、専用ソフトウェアWireless Mobile UtilityをインストールしたスマートデバイスとWi-Fi（無線LAN）で通信できます。スマートデバイスからカメラをリモートで操作して、撮影およびスマートデバイスへの画像の取り込みを行ったり、取り込んだ画像をインターネット経由で共有したりできます。また、カメラ側から画像を選んでスマートデバイスに送信することもできます（□94）。

画像を取り込み

画像を共有



■ スマートデバイスにWireless Mobile Utilityをインストールする

最初にスマートデバイスでGoogle PlayサービスやApp Storeなどに接続して「Wireless Mobile Utility」を検索し、スマートデバイスにインストールしてください。ソフトウェアの検索方法については、お使いのスマートデバイスの説明書をご覧ください。

- ソフトウェアの詳しい操作方法は、下記のホームページから使用説明書（PDF形式）をダウンロードしてご覧ください。

- Android OS : <http://nikonimglib.com/ManDL/WMAU/>

- iOS : <http://nikonimglib.com/ManDL/WMAU-ios/>

カメラとスマートデバイスを接続する

Wi-Fi（無線LAN）を使う前に、Android OS またはiOS のスマートデバイスに専用ソフトウェアWireless Mobile Utilityをインストールしてから、スマートデバイスとカメラを接続してください。スマートデバイスとカメラを接続する方法は、お使いのスマートデバイスの種類によって異なります。

Android OS	WPS プッシュボタン方式 ：スマートデバイスがWPS接続に対応している場合（スマートデバイスの 【Wi-Fi設定】 に 【WPSボタン接続】 がある場合）、簡単な操作でカメラとスマートデバイスを接続できます。	90
	WPS PINコード方式 ：スマートデバイスがWPS接続に対応している場合、スマートデバイスのPINコードをカメラに入力することで、カメラとスマートデバイスを接続できます。	91
	SSIDの表示 ：スマートデバイスがWPS接続に対応していなくても、カメラに表示されるSSIDをスマートデバイス側で選ぶことで、カメラとスマートデバイスを接続できます。	92
iOS	SSIDの表示 ：カメラに表示されるSSIDをスマートデバイス側で選ぶことで、カメラとスマートデバイスを接続できます。	92



WPS について

「WPS（Wi-Fi Protected Setup）」とは、無線LAN 機器の接続とセキュリティの設定を簡単に実行するための規格です。スマートデバイスによって、設定方法や待ち受け時間が異なります。**【WPSプッシュボタン方式】**の詳細については、お使いのスマートデバイスの説明書をご覧ください。

WPSプッシュボタン接続でスマートデバイスと接続する（Android OSのみ）

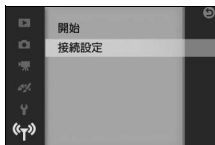
1 [Wi-Fi] を選ぶ

- MENUボタンを押してメニュー画面を表示し、[Wi-Fi] を選んで $\odot$ ボタンを押します。



2 カメラ側とスマートデバイス側で同時にWPSボタン接続操作をする

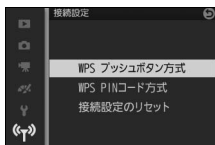
- カメラ側：
 - [接続設定] を選んでロータリーマルチセクターの $\blacktriangleright$ を押します。



- [WPS プッシュボタン方式] を選んで $\blacktriangleright$ を押すと、カメラが約2分間接続待機状態になります。
- 接続待機状態を延長するには、 $\odot$ ボタンを押してください。

- スマートデバイス側：

- スマートデバイスの [Wi-Fi設定] から [WPSボタン接続] を選びます。



3 スマートデバイスにインストールしたWireless Mobile Utilityを起動する

- スマートデバイスにWireless Mobile Utilityのトップ画面が表示されます。

スマートデバイスのPINコードをカメラに入力して接続する（Android OSのみ）

1 [Wi-Fi] を選ぶ

- MENUボタンを押してメニュー画面を表示し、[Wi-Fi] を選んでOKボタンを押します。

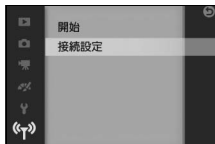


2 [接続設定] で [WPS PINコード方式] を選ぶ

- [接続設定] を選んでロータリーマルチセレクターの▶を押します。



- [WPS PINコード方式] を選んで▶を押します。



3 スマートデバイスのPINコードを入力する

- ◀または▶を押して桁を選び、▲または▼を押して数値を設定し、OKボタンを押します。

4 スマートデバイスにインストールしたWireless Mobile Utilityを起動する

- スマートデバイスにWireless Mobile Utilityのトップ画面が表示されます。

カメラのSSIDをスマートデバイスで選んで接続する (Android OS/iOS)

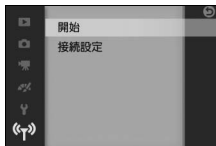
1 [Wi-Fi] を選ぶ

- MENUボタンを押してメニュー画面を表示し、[Wi-Fi] を選んで $\odot$ ボタンを押します。



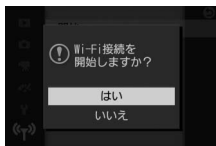
2 [開始] を選ぶ

- [開始] を選んでロータリーマルチセレクターの▶を押します。



3 [はい] を選ぶ

- [はい] を選んで $\odot$ ボタンを押すと、カメラのSSIDが表示されます。



4 スマートデバイスのWi-Fi設定でカメラのSSIDを選ぶ

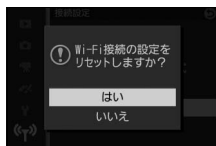
- スマートデバイスのWi-Fi接続に関連する設定メニューで、カメラの液晶モニターに表示されているSSIDを選びます。

5 スマートデバイスにインストールしたWireless Mobile Utilityを起動する

- スマートデバイスにWireless Mobile Utilityのトップ画面が表示されます。

■ Wi-Fi接続設定をリセットするには

[Wi-Fi] の [接続設定] で [接続設定のリセット] を選んで▶を押すと、確認画面が表示されます。[はい] を選んでOK ボタンを押すと、接続先などの接続設定が、工場出荷時の設定にリセットされます。



✓ Wi-Fi接続についてのご注意

- Wi-Fi（無線LAN）をお使いの前に、「Wi-Fi（無線LAN）機能について」（□xvii）をお読みください。
- 電波の出力が禁止されている場所では、Wi-Fiの通信を行わないでください。
- USBケーブルまたはHDMIケーブルを接続しているときは、Wi-Fi機能は使えません。
- Wi-Fi接続待機中の画面で、スマートデバイスからの接続がないまま約5分間経過すると、Wi-Fiの通信は終了します。
- 操作中のバッテリー切れを防ぐため、十分に充電されたバッテリーをお使いください。
- Wi-Fiの通信を終了するには、接続待機中の画面または接続動作中の画面でMENUボタンを押します。

✓ 電子ビューファインダー（□27）をお使いの場合

- Wi-Fi通信中は電子ビューファインダーは消灯します。
- 電子ビューファインダーの表示設定が、常時電子ビューファインダー点灯または常時液晶モニター点灯の場合は、Wi-Fi通信終了時に自動表示切り換えに変更されます。

カメラからスマートデバイスに画像を送信する方法について

カメラで静止画を選んでスマートデバイスに送信できます。

表示中の画像を送信する

1 送信する画像を選ぶ

- 1コマ表示モードで、送信する画像を表示します。

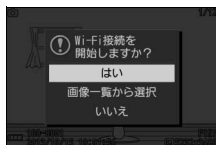
2 [Wi-Fi送信] を選ぶ

- ロータリーマルチセレクターの **F** (フィーチャー) を押して **F** メニューを表示し、[Wi-Fi送信] を選び、**OK** ボタンを押します。



3 確認画面で[はい] を選ぶ

- [はい] を選んで**OK** ボタンを押すと、カメラのSSIDが表示されます。
- [画像一覧から選択] を選ぶと、複数の画像を選んで送信できます。□ 95ページの手順2へお進みください。



4 スマートデバイスのWi-Fi設定でカメラのSSIDを選ぶ

- スマートデバイスのWi-Fi接続に関連する設定メニューで、カメラの液晶モニターに表示されているSSIDを選びます。



5 スマートデバイスにインストールしたWireless Mobile Utilityを起動する

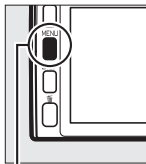
- スマートデバイスの表示に従って画像を送信してください。
- 画像送信の終了後、MENUボタンを押すと、Wi-Fiの通信を終了します。

複数の画像をまとめて送信する

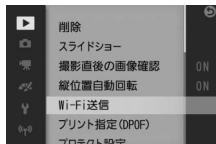
再生メニューの[Wi-Fi送信]では、複数の画像をまとめて送信できます。

1 [Wi-Fi送信] を選ぶ

- MENUボタンを押して、再生メニューの[Wi-Fi送信]を選んでロータリーマルチセクターの▶を押します。

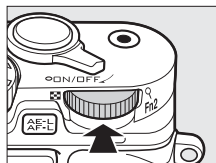


MENUボタン



2 送信する画像を選ぶ

- ◀▶を押して、画像を選びます。
- ▲を押して設定します。設定すると⚡アイコンが表示され▼を押すと解除されます。
- 送信する画像全てに設定してください。
- メインコマンドダイヤルを押し込んでいる間、選んだ画像を拡大表示します。



メインコマンドダイヤル

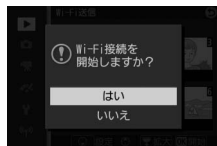


3 設定を完了する

- **OK** ボタンを押して、設定を完了します。

4 確認画面で【はい】を選ぶ

- 【はい】を選んで**OK**ボタンを押すと、カメラのSSIDが表示されます。



5 スマートデバイスのWi-Fi設定でカメラのSSIDを選ぶ

- スマートデバイスのWi-Fi接続に関連する設定メニューで、カメラの液晶モニターに表示されているSSIDを選びます。

6 スマートデバイスにインストールしたWireless Mobile Utilityを起動する

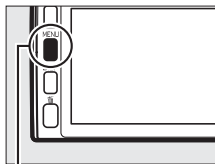
- スマートデバイスの表示に従って画像を送信してください。
- 画像送信の終了後、MENUボタンを押すと、Wi-Fiの通信を終了します。





メニューを使う

MENU ボタンを押して、再生、撮影、動画撮影、絵づくり、セットアップメニューを選ぶと、各メニューを設定できます (□8)。



MENUボタン

メニュー項目の一覧

再生メニュー

メニュー項目	内容
削除	複数の画像を一括して削除します。
スライドショー	画像や動画を連続再生します。
撮影直後の画像確認	撮影直後に画像を自動的に表示するかどうかを設定します。
縦位置自動回転	縦位置で撮影した画像を、自動的に回転して表示できます。
Wi-Fi送信	内蔵のWi-Fiでスマートデバイスに静止画を送信できます。
プリント指定 (DPOF)	プリントする画像とプリント枚数をあらかじめ指定できます。
プロテクト設定	大切な画像を誤って削除しないために、画像にプロテクト (保護) を設定できます。
レーティング	撮影した画像にレーティング (重要度) を設定できます。
D-ライティング	画像の暗い部分を明るく補正できます。*
リサイズ	サイズの小さい画像を作成します。*
トリミング	画像の一部を切り抜きます。*
動画編集	動画の必要な部分を残します。*
4秒動画結合	4秒動画 (□52) で撮影した動画を1つに結合します。
NMS動画結合	NMS形式で撮影されたモーションスナップショットの動画を1つに結合します。

*編集された画像は、元の画像とは別に、新しい画像としてメモリーカードに記録されます。



■ 撮影メニュー

メニュー項目	内容
撮影メニューのリセット	撮影メニューの各項目など、撮影に関する設定をリセットして初期設定に戻します。
クリエイティブ	クリエイティブモードのシーンを選べます。
ベストモーメントキャプチャー	ベストモーメントキャプチャーモードの撮影方法を「 お気に入りフォト選択 」、「 スロービュー 」または「 スマートフォトセレクト 」から選べます。
露出モード	ベストモーメントキャプチャーモードの「 お気に入りフォト選択 」(□63)と「 スロービュー 」(□66)、およびモーションスナップショットモード(□72)で露出を決めるときのモードを選べます。
画質モード	画像を記録するときのファイル形式と画質を設定できます。
画像サイズ	画像を記録するときの画像サイズを設定できます。
お気に入りフォト選択	「 お気に入りフォト選択 」(□63)で撮影するときの記録範囲、記録時間、初期選択枚数を設定できます。
画像の保存枚数	「 スマートフォトセレクト 」(□68)撮影時に、一度の撮影で保存する静止画の枚数を設定できます。
動画の前後比率	モーションスナップショットモード(□72)でシャッターボタンを全押ししたときの前後を動画で撮影するか、シャッターボタンを全押しした前のみを動画で撮影するかを設定できます。
ファイル形式	モーションスナップショット画像(□72)の記録形式を設定できます。
音声	モーションスナップショット(□72)撮影時に記録する音声を選べます。
色の選択	クリエイティブモードが「 セレクトカラー 」のときに、残す色を選択できます。
ソフト	クリエイティブモードが「 ソフト 」のときに、効果の度合いと、カメラが人物を認識した場合の画像のぼかし方を設定できます。



メニュー項目	内容
色相	クリエイティブモードが【クロスプロセス】のときに、色相を選べます。
トイカメラ風	クリエイティブモードが【トイカメラ風】のときに、色の濃さと周辺減光の度合いを設定できます。
測光モード	適正な露出を得るためにカメラが被写体の明るさを測る方法（測光モード）を設定できます。
自動ゆがみ補正	広角レンズ使用時のたる型のゆがみや、望遠レンズ使用時の糸巻き型のゆがみを補正して撮影します。
色空間	記録する静止画の色空間を指定できます。
アクティブ D-ライティング	白とびや黒つぶれを軽減した、見た目のコントラストに近い画像を撮影できます。
長秒時ノイズ 低減	シャッタースピードが遅いときに発生するノイズを低減できます。
インターバル タイマー撮影	設定した撮影間隔（インターバル）と撮影回数で自動的に撮影するインターバルタイマー撮影を行えます。
光学手ブレ補正	手ブレ補正機能のある1 NIKKORレンズの装着時に、光学手ブレ補正の設定ができます。
電子手ブレ補正	モーションスナップショットモード（□72）での撮影時に電子手ブレ補正を行うかどうかを設定できます。
フォーカス モード	撮影目的に合わせて、ピントの合わせ方を選べます。
AFエリア モード	ピントを合わせるAFエリアをカメラがどのように選択するかを設定できます。
顔認識	人物を撮影する場合に、顔認識をするかどうかを設定できます。
内蔵AF補助光 の照射	暗い場所でもAF補助光を自動的に照射させないように設定できます。
フラッシュ発光	フラッシュの発光方式を設定できます。
フラッシュ調光 補正	フラッシュの調光補正量を設定できます。



■■ 動画撮影メニュー

メニュー項目	内容
動画撮影のリセット	動画撮影メニューをリセットして初期設定に戻します。
アドバンスト動画	アドバンスト動画モードで撮影するときの動画の種類を設定できます。
露出モード	アドバンスト動画モードで撮影するときの露出モードを設定できます。
スローモーション	アドバンスト動画モードが[スローモーション]のときのフレームレートを設定できます。
サイズ/ フレームレート	オートモード、クリエイティブモード、P、S、A、Mモードのとき、またはアドバンスト動画モードが[HD 動画] (□52) のときの解像度とフレームレートを設定できます。
測光モード	適正な露出を得るためにカメラが被写体の明るさを測る方法（測光モード）を設定できます。
動画音声の設定	動画撮影時の内蔵マイクまたは別売のステレオマイクホンの感度の程度を設定します。また、風切り音を低減するかどうかを設定できます。
光学手ブレ補正	手ブレ補正機能のある1 NIKKORレンズの装着時に、光学手ブレ補正の設定ができます。
電子手ブレ補正	オートモード、クリエイティブモード、P、S、A、Mモードで動画を撮影するとき、またはアドバンスト動画モードが[HD 動画] (□52) のときに、電子手ブレ補正を行うかどうかを設定できます。
フォーカスモード	撮影目的に合わせて、ピントの合わせ方を選べます。
AFエリアモード	ピントを合わせるAFエリアをカメラがどのように選択するかを設定できます。
顔認識	人物を撮影する場合に、顔認識をするかどうかを設定できます。
動画中おまかせスナップ	動画撮影中に、カメラが自動で静止画を撮影します。撮影頻度も設定できます。



■ 絵づくりメニュー

メニュー項目	内容
絵づくりのリセット	絵づくりメニューをリセットして、初期設定に戻します。
ホワイトバランス	光源の種類に合わせてホワイトバランスを設定できます。
ISO感度設定	ISO感度を設定できます。
Picture Control	記録する画像の仕上がり（ピクチャーコントロール）を、撮影シーンや好みに合わせて選べます。
Custom Picture Control	「ピクチャーコントロール」を好みに合わせて調整して、「カスタムピクチャーコントロール」として登録できます。
高感度ノイズ低減	ISO感度が高くなるほど発生しやすいノイズを低減できます。

■ セットアップメニュー

メニュー項目	内容
セットアップのリセット	セットアップメニューをリセットして、初期設定に戻します（[フリッカー低減]、[地域と日時]、[言語(Language)]を除く）。
メモリーカードの初期化	メモリーカードを初期化します。
カードなし時リリース	カメラにメモリーカードを入れていないときのリリース操作を設定できます。
モニター表示	液晶モニターの明るさや、構図用格子線の表示/非表示、再生時ハイライトの表示/非表示などを設定できます。
サイレント撮影	撮影時の音を鳴らさないように設定できます。
音の設定	電子音の鳴る/鳴らないを設定できます。
オートパワーオフ	カメラの電源をONにしたまま何も操作しないで、待機状態になるまでの時間を設定できます。
タッチ操作	タッチ操作（□14）の有効/無効を設定できます。
リモコン待機時間	リモコンモード（□80）に設定してから、カメラがリモコンからの信号を待ち受ける時間を設定できます。



メニュー項目	内容
Fnボタンの機能	Fn1 ボタン、 Fn2 ボタン、 Fn3 ボタンを押したときの機能を設定できます。
AE/AF-Lボタンの機能	AE-L (AE/AFロック) ボタンを押したときの機能を設定できます。
半押しAEロック	シャッターボタンを半押ししたときにAEロックを行うかどうかを設定できます。
HDMIの機器制御	HDMI-CEC対応テレビのリモコンを使って、テレビに接続したカメラの操作を行えます。
フリッカー低減	蛍光灯や水銀灯などの光源下で、撮影するときの表示や撮影する動画にちらつきや横縞が生じる「フリッカー現象」を低減できます。
連番リセット	ファイル名に使われるファイル番号の連番をリセットします。
地域と日時	現在地と日時、年月日の表示順を設定できます。
言語 (Language)	メニュー画面やメッセージの表示言語を選べます。
縦横位置情報の記録	撮影時のカメラの縦横位置情報を画像に記録できます。
位置情報	GPSユニットと接続時のオートパワーオフ、取得した位置情報データの表示、GPSユニットによる日時合わせを設定できます。
ピクセルマッピング	撮像素子と画像処理機能のチェックと最適化を行います。
ファームウェアバージョン	「ファームウェア」のバージョンを表示します。





パソコンとの接続

付属のソフトウェアをインストールする

付属のソフトウェアをインストールして、画像をパソコンに取り込めば、このカメラで撮影した画像の表示や編集ができます。インストールを始める前に、お使いのパソコンの環境が□□104の動作環境に合っているか確認してください。

1 言語を選択する

- 言語を選んで [次へ] をクリックしてください。

2 インストールを開始する

- [インストール] をクリックして画面の指示に従ってインストールしてください。

3 インストールを終了する

- 完了ダイアログが表示されたら [はい] (Windows) または [OK] (Mac) をクリックしてください。

4 CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出す



付属のソフトウェアの動作環境

- ViewNX 2の動作環境は次の通りです。

Windows	
プロセッサ (CPU)	- 静止画：Intel Celeron/Pentium 4/Coreシリーズ1.6GHz以上 - 動画： - 再生時：Pentium D 3.0GHz以上 - 編集時：Intel Core i5以上 1280 × 720 ピクセル以上でフレームレート 30 fps 以上、または 1920 × 1080ピクセル以上で動画再生をする場合：Intel Core i5 以上を推奨
OS	Windows 8.1、Windows 7、Windows Vista • 全てプリインストールされているモデルに対応
実装メモリー (RAM)	32 ビット版 Windows 8.1、Windows 7、Windows Vista：1 GB 以上（2 GB 以上推奨） 64 ビット版 Windows 8.1、Windows 7、Windows Vista：2 GB 以上（4 GB 以上推奨）
ハードディスク	OS起動ディスクの空き容量が1GB以上（3GB以上推奨）
モニター	解像度：1024×768ピクセル（XGA）以上（1280×1024ピクセル以上推奨）、表示色数：24ビットカラー以上
Mac	
プロセッサ (CPU)	- 静止画：Intel Core シリーズ/Xeon シリーズ - 動画： - 再生時：Core Duo 2GHz以上 - 編集時：Intel Core i5以上 1280 × 720 ピクセル以上でフレームレート 30 fps 以上、または 1920 × 1080ピクセル以上で動画再生をする場合：Intel Core i5 以上を推奨
OS	OS X 10.9、10.8、10.7
実装メモリー (RAM)	2 GB 以上（4 GB 以上推奨）
ハードディスク	OS起動ディスクの空き容量が1GB以上（3GB以上推奨）
モニター	解像度：1024×768ピクセル（XGA）以上（1280×1024ピクセル以上推奨）、表示色数：1670万色以上



ViewNX 2を使う

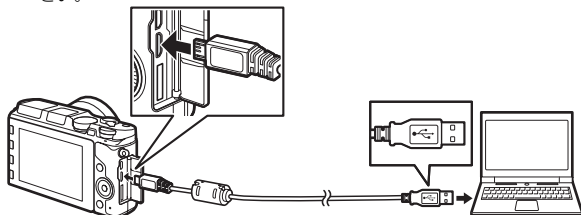
パソコンに画像を取り込む

1 画像の入ったメモリーカードを用意する

- メモリーカード内の画像は、次の方法でパソコンに取り込みめます。

- メモリーカードを入れたカメラの電源をOFFにしてから、付属のUSBケーブルでカメラとパソコンを接続し、カメラの電源をONにする※

※ USB ケーブルは、無理な力を加えず、端子にまっすぐ差し込んでください。



- パソコンに装備されているmicroSDカード対応カードスロットに直接メモリーカードを差し込む
- 市販のmicroSDカード対応カードリーダーをパソコンに接続して、メモリーカードをセットする

付属のソフトウェアについて

必ず最新版にバージョンアップしてお使いください。お使いのパソコンがインターネットに接続されていれば、ソフトウェアの起動時にニコンメッセージセンター 2 (Nikon Message Center 2) が自動的に更新情報をチェックします。

モーションスナップショット画像の再生について

撮影メニューの【ファイル形式】(□98)を【NMS形式】に設定して撮影したモーションスナップショット画像をパソコンで再生するには、ViewNX 2が必要です。

対応OSについて

対応OSに関する最新情報は、当社ホームページのサポート情報(□xiv)でご確認ください。



2 ViewNX 2のNikon Transfer 2が起動する

- 起動するプログラム（ソフトウェア）を選ぶ画面がパソコンに表示されたときは、Nikon Transfer 2を選びます。

Windows 7をお使いの場合

次の画面が表示されたときは、次の手順でNikon Transfer 2を選びます。



- 1 「画像とビデオのインポート」で使用するプログラムにNikon Transfer 2を選ぶ
 - 「画像とビデオのインポート」の「プログラムの変更」をクリックすると表示される画面で、「画像ファイルを取り込む-Nikon Transfer 2使用」を選んで、「OK」をクリックします。
- 2 「画像ファイルを取り込む」をダブルクリックする

3 画像をパソコンに取り込む

- 「転送開始」をクリックすると、記録されている全ての画像がパソコンに取り込まれます（ViewNX 2の初期設定）。



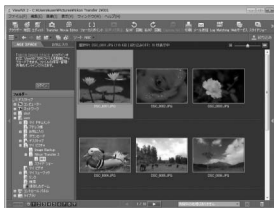
「転送開始」をクリック

4 接続を解除する

- カメラを接続している場合は、カメラの電源をOFFにして、USBケーブルを抜きます。
- カードリーダーやカードスロットをお使いの場合は、パソコン上でリムーバブルディスクの取り外しを行ってから、カードリーダーまたはメモリーカードを取り外してください。

ViewNX 2を起動する

画像の取り込みが終わると、ViewNX 2が自動的に起動し、取り込んだ画像が表示されます。



■ ViewNX 2を手動で起動するには

- Windows : デスクトップの [ViewNX 2] のショートカットアイコンをダブルクリックする
- Mac : Dockの [ViewNX 2] アイコンをクリックする

■ 静止画を編集する

ViewNX 2のツールバーで [エディット] をクリックします。

階調の補正、シャープネスの調整、画像の切り抜き（クロップ）などの編集ができます。



■ 画像をプリントする

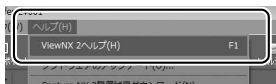
ViewNX 2のツールバーで [印刷] をクリックします。

ダイアログが表示され、パソコンにつないだプリンターから、画像をプリントできます。



■ ViewNX 2の詳しい使い方は

ViewNX 2のヘルプを参照してください。



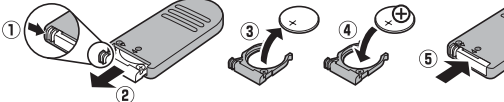
資料

このカメラで使えるアクセサリやカメラの主な仕様など、カメラを使うときに役立つ情報を記載しています。また、カメラの動作がおかしいときや警告メッセージが表示されたときの対処方法についても説明しています。

使用できるアクセサリ

このカメラには撮影領域を広げるさまざまなアクセサリが用意されています。

レンズ	• 1マウントレンズ
マウントアダプター	• マウントアダプター FT1
電源	• Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL20a (□20、21) ニコンデジタルカメラNikon 1 V3用のバッテリーです。 • バッテリーチャージャー MH-29※1 (□20) Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL20a用のチャージャーです。 ※1 家庭用電源のAC100～240V、50～60Hzに対応しています。 日本国外では、必要に応じて市販の変換プラグアダプターを装着してお使いください。変換プラグアダプターは、あらかじめ旅行代理店などでお確かめの上、お買い求めください。
	• パワーコネクター EP-5C、ACアダプター EH-5b※2 ACアダプターを使用すると、長時間カメラを使用するときに安定して電源を供給できます。 - このカメラは、カメラ本体とACアダプターを接続するためにパワーコネクター EP-5Cが必要です。 - EH-5bの代わりにACアダプター EH-5/EH-5aも使えます。 ※2 日本国内専用電源コード (AC 100V対応) 付属。日本国外でお使いになるには、別売の電源コードが必要です。
電子ビューファインダー	• 電子ビューファインダー DF-N1000 (□27) マルチアクセサリポートに装着できる電子ビューファインダーです。

グリップ	• グリップGR-N1010 (□30) カメラボディに取り付けることにより、ホールド性や操作性を向上させるグリップです。シャッターボタン、サブコマンドダイヤル、Fn3ボタンが装備されています。
スピードライト	• ニコンスピードライトSB-N5 - ガイドナンバーは、8.5 (ISO 100・m) /10.8 (ISO 160・m) です (20℃の場合)。 • ニコンスピードライトSB-N7 - ガイドナンバーは、18 (ISO 100・m) /22.8 (ISO 160・m) です (20℃の場合)。 • SB-N5またはSB-N7をNikon 1 V3に装着して使用する場合、i-TTL 調光とマニュアル発光に対応しています。
リモコン (□80)	• リモコンML-L3 リモコン用電池 (CR2025型3Vリチウム電池) の交換方法  電池室のノブを右側に押しながら (①)、隙間に爪などを差し込んで手前に引き出して (②) ください。リチウム電池を入れる際は、「+」と「-」の向きをよくご確認ください (④)。
外部マイク	• ステレオマイクロホンME-1 ステレオマイクロホンME-1を外部マイク入力端子に接続すると、動画撮影中にオートフォーカスでピント合わせをしたときに生じるレンズの動作音が録音されるのを軽減できます。ステレオマイクロホンME-1をカメラに装着するには、マルチアクセサリポートアダプター AS-N1000をお使いください。
GPSユニット	• GPSユニットGP-N100 画像データに撮影時の緯度、経度、標高、UTC (協定世界時) を記録できます。GP-N100は、内蔵フラッシュを収納した状態でお使いください。

使用できるアクセサリーについて

- 国または地域によって、販売していない場合があります。
- アクセサリーの最新情報は、当社ホームページやカタログなどでご確認ください。

マルチアクセサリーポートアダプター	• マルチアクセサリーポートアダプター AS-N1000 ステレオマイクロホンME-1をカメラに固定するアダプターです。
ボディーキャップ	• ボディーキャップBF-N1000 レンズを取り外したカメラボディーに取り付けることにより、撮像素子などへのゴミやほこりの付着を防ぎ、カメラ内部を保護します。

推奨microSDカード

次のmicroSDカードの動作を確認しています。

	microSD メモリーカード	microSDHC メモリーカード※2	microSDXC メモリーカード※3
SanDisk製	2GB※1	4GB、8GB、 16GB、32GB	64GB
東芝製	2GB※1	4GB、8GB、 16GB、32GB	—
Panasonic製	2GB※1	4GB、8GB、 16GB、32GB	—

※1 カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器が2GBのmicroSDカードに対応している必要があります。

※2 SDHC規格に対応しています。カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器がSDHC規格に対応している必要があります。このカメラは、UHS-I規格に対応しています。

※3 SDXC規格に対応しています。カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器がSDXC規格に対応している必要があります。このカメラは、UHS-I規格に対応しています。



- 動画の撮影には、SDスピードクラスがClass 6以上のカードをおすすめします。転送速度が遅いカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。
- 上記メモリーカードの機能、動作の詳細、動作保証などについては、メモリーカードメーカーにご相談ください。その他のメーカー製のメモリーカードにつきましては、動作の保証はいたしかねます。

カメラのお手入れについて

保管について

長期間カメラを使用しないときは、必ずバッテリーを取り出してください。バッテリーを取り出す前には、カメラの電源がOFFになっていることを確認してください。

カメラを保管するときは、次の場所は避けてください。

- 換気の悪い場所や湿度が60%を超える場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の周辺
- 温度が50℃以上、または-10℃以下の場所

クリーニングについて

カメラ本体	ほこりや糸くずをブロアーで払い、柔らかい乾いた布で軽く拭きます。海辺でカメラを使用した後は、砂や塩を真水で湿らせた布で軽く拭き取り、よく乾かします。 ご注意：カメラ内部にゴミ、ほこりや砂などが入り込むと故障の原因となります。この場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。
レンズ・電子ビューファインダー	レンズ面は傷つきやすいので、ほこりや糸くずをブロアーで払います。スプレー缶タイプブロアーは、缶を傾けずにお使いください（中の液体が気化されずに吹き出し、レンズや電子ビューファインダーを傷つけることがあります）。指紋や油脂などの汚れは、柔らかい布にレンズクリーナーを少量付けて、レンズ面を傷つけないように注意して拭きます。
液晶モニター	ほこりや糸くずをブロアーで払います。指紋や油脂などの汚れは、表面を柔らかい布かセーム革で軽く拭き取ります。強く拭くと、破損や故障の原因となることがありますのでご注意ください。

アルコール、シンナーなど揮発性の薬品はお使いにならないでください。



❑ 定期点検、オーバーホールのおすすめ

カメラは精密機械ですので、1～2年に1度は定期点検を、3～5年に1度はオーバーホールすることをおすすめします（有料）。

- 特に業務用にお使いの場合は、早めに点検整備を受けてください。
- より安心してご愛用いただけるよう、お使いのレンズなども併せて点検依頼されることをおすすめします。

カメラとバッテリーの取り扱い上のご注意

カメラの取り扱い上のご注意

●強いショックを与えない

カメラやレンズを落としたり、ぶつけたりしないようにご注意ください。強い衝撃や振動を加えると、破損したり精密に調整された部分に悪影響を及ぼします。

●水にぬらさない

カメラは水にぬらさないようにご注意ください。カメラ内部に水滴が入ったりすると部品がサビついてしまい、修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

●急激な温度変化を与えない

極端に温度差のある場所に急にカメラを持ち込むと、カメラ内外に水滴が生じ、故障の原因となります。カメラをバッグやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてからお使いください。

●強い電波や磁気の発生する場所で撮影しない

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲や、強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、撮影画像へのノイズ混入等、カメラが正常に機能しないことがあります。

●長時間、太陽に向けて撮影または放置しない

太陽などの高輝度被写体に向けて長時間直接撮影したり、放置したりしないでください。過度の光照射は撮像素子の褪色・焼き付きを起こすおそれがあります。また、その際撮影された画像に、真っ白くにじみが生じることがあります。

●レンズやボディーキャップを外した状態でカメラを放置しない

レンズを取り外した後は、カメラにボディーキャップを必ず取り付けてください。

● カメラ本体のお手入れについて

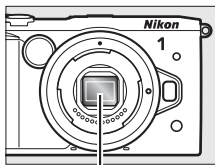
カメラ本体のお手入れの際は、ブロアーでゴミやほこりを軽く吹き払ってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。特に、海辺で使った後は、真水を数滴たらした柔らかい清潔な布で塩分を拭き取ってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いて乾かしてください。

● レンズや電子ビューファインダーのお手入れについて

レンズや電子ビューファインダーは傷が付きやすいので、ゴミやほこりが付いているときは、ブロアーで軽く吹き払う程度にしてください。なお、スプレー缶タイプのブロアーの場合、スプレー缶を傾けずにお使いください(中の液体が気化されずに吹き出し、レンズや電子ビューファインダーを傷つける場合があります)。レンズに万一指紋などが付いてしまった場合は、柔らかい清潔な布に市販のレンズクリーナーを少量湿らせて、軽く拭き取ってください。

● 撮像素子に触れない

撮像素子を押さえたり、突いたり、ブロアーなどで強く吹くなどは、絶対にしないでください。傷や破損などの原因となります。



撮像素子

● 長期間使用しないときは、バッテリーを取り出し、乾燥剤と一緒に保管する

カメラを長期間使用しないときは、バッテリーの液もれなどからカメラを保護するために、必ずカメラからバッテリーを取り出しておいってください。保管する際は、カメラをポリエチレン袋などに乾燥剤と一緒に入れておくことより安全です。ただし、皮ケースをビニール袋に入れると、変質することがありますので避けてください。カメラやバッテリーは高温、多湿となる場所を避けて保管してください。乾燥剤(シリカゲル)は湿気を吸うと効力がなくなるので、ときどき交換してください。カメラを長期間使用しないまま放置しておくと、カビや故障の原因となることがあるので、月に一度を目安にバッテリーを入れ、カメラを操作することをおすすめします。

● 風通しのよい場所に保管する

カビや故障などを防ぐため、風通しのよい乾燥した場所を選んでカメラを保管してください。防虫剤のあるところ、磁気を発生する器具のそば、高温となる夏季の車内、使用しているストーブの前などにカメラを置かないでください。故障の原因になります。

● バッテリーやACアダプターを取り外すときは、必ずカメラの電源をOFFにする

カメラの電源がONの状態、バッテリーを取り出したり、ACアダプターを取り外すと、故障の原因となります。特に撮影中や記録データの削除中に前記の操作は行わないでください。



● 液晶モニターと電子ビューファインダーについて

- モニター画面（電子ビューファインダー含む）は、非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効ドットがありますが、0.01%以下でドット抜けするものがあります。そのため、常時点灯（白、赤、青、緑）あるいは非点灯（黒）の画素が一部存在することがありますが、故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。あらかじめご了承ください。
- 屋外では日差しの加減で液晶モニターが見えにくい場合があります。
- 液晶モニター表面を強くこすったり、強く押しつけないでください。液晶モニターの故障やトラブルの原因になります。もしゴミやほこり等が付着した場合は、ブローで吹き払ってください。汚れがひどいときは、柔らかい布やセーム革等で軽く拭き取ってください。万一、液晶モニターが破損した場合、ガラスの破片などでケガをするおそれがあるので充分ご注意ください。

ださい。中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないよう、充分ご注意ください。

● モアレについて

モアレは、被写体の模様と撮像素子の配列とが干渉して起きる現象で、連続するパターンのある画像（建物の格子や格子模様、格子状に並んだビルの窓など）や、規則的に繰り返す細かい模様を持つ被写体（カーテンレースの網目や衣類など）を撮影したときに発生することがあります。このモアレは線状に発生する場合もあります。

モアレが発生しやすい被写体を撮影するときは、撮影距離を変える、ズームレンズをお使いの場合はズーミングして焦点距離を変える、被写体に対する角度を変えて撮影する、などの方法をおすすめします。

● 線状のノイズについて

逆光撮影や輝度の高い光源に向けて撮影する場合、まれに画像上に線状のノイズが発生することがあります。



バッテリーの取り扱い上のご注意

● 使用上のご注意

- バッテリーの使用方法を誤ると液もれにより製品が腐食したり、バッテリーが破裂したりするおそれがあります。次の使用上の注意をお守りください。
- バッテリーはカメラの電源を OFF にしてから入れる。
- バッテリーを長時間使用した後は、バッテリーが発熱していることがあるので注意する。

- バッテリーの端子は、汚さないように注意する。
- 必ず指定のバッテリーを使う。
- バッテリーを火の中に投入したり、ショートさせたり、分解したりしない。
- カメラやチャージャーから取り外したバッテリーには、必ず端子カバーを付ける。

- バッテリーは0℃ ～ 40℃の範囲を超える場所ではお使いにならないでください。バッテリーの性能が劣化したり、故障の原因となります。
- 周囲の温度が5℃ ～ 35℃の室内で充電してください。バッテリーの温度が0℃以下、60℃以上のときは、充電をしません。
- バッテリーの温度が0℃ ～ 10℃、45℃ ～ 60℃のときは、充電できる容量が少なくなる、または充電時間が長くなることがあります。
- 一般的な電池特性として、周囲の温度が下がるにつれ、使用できるバッテリー容量は少なくなります。このカメラでは、温度変化に対して使用できる容量も的確にバッテリー残量として表示します。そのため、十分に充電したバッテリーでも、充電したときよりも温度が低くなると、充電直後から残量が減り始めた表示になることがあります。
- 十分に充電したにもかかわらず、室温での使用状態でバッテリーの使用時間が極端に短くなってきた場合は、バッテリーの寿命です。新しいリチャージャブルバッテリー EN-EL20aをお求めください。
- カメラの使用直後など、バッテリー内部の温度が高くなっている場合は、温度が下がるのを待ってから充電してください。バッテリー内部の温度が高い状態では、充電ができなかったり、または不完全な充電になるばかりでなく、バッテリーの性能が劣化する原因になります。
- しばらく使わない場合は、カメラでバッテリーを使い切った状態で涼しいところで保管してください。周囲の温度が15℃ ～ 25℃くらいの乾燥し

たところをおすすめします。暑いところや極端に寒いところは避けてください。

- 使用後のバッテリーは、半年以内に充電するようおすすめします。長期間保管する場合は、半年に一回程度充電した後、カメラでバッテリーを使い切ってから涼しいところで保管してください。
- 使用しないときは、必ずバッテリーをカメラやチャージャーから取り外してください。付けたままにしておくと、電源が切れていても微小電流が流れていますので、過放電になり使えなくなるおそれがあります。

● 撮影前にバッテリーをあらかじめ充電する

撮影前にバッテリーを充電してください。付属のバッテリーは、ご購入時にはフル充電されていません。

● 予備バッテリーを用意する

撮影の際は、充電された予備のバッテリーをご用意ください。特に、海外の地域によってはバッテリーの入手が困難な場合があるので、ご注意ください。

● 低温時にはフル充電したバッテリーを使用し、予備のバッテリーを用意する

低温時に消耗したバッテリーを使用すると、カメラが作動しないことがあります。低温時にはフル充電したバッテリーを使用し、保温した予備のバッテリーを用意して暖めながら交互に使用してください。低温のために一時的に性能が低下して使えなかったバッテリーでも、常温に戻ると使えることがあります。



● バッテリーの残量について

残量がなくなったバッテリーをカメラに入れたまま、何度も電源のON/OFFを繰り返すと、バッテリーの寿命に影響を及ぼすおそれがあります。残量がなくなったバッテリーは、充電してお使いください。

● 充電が完了したバッテリーを続けて再充電しない

バッテリー性能が劣化します。

● 小型充電式電池のリサイクル

不要になった充電式電池は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。



Li-ion00

数字の有無と数値は、電池によって異なります。

チャージャーの使用上のご注意

- バッテリーチャージャー MH-29 対応のバッテリー以外は充電しないでください。
- チャージャーの「CHARGE」ランプが速く点滅する場合は、バッテリーの異常です。ただちにチャージャーをコンセントから抜いて、充電を中止してください。販売店またはニコンサービス機関にチャージャーおよびバッテリーをお持ちください。
- 充電中にチャージャーをゆすったり、充電中のバッテリーに触れたりする

と、振動や静電気の影響により、きわめてまれではありますが、未充電にもかかわらず充電完了表示になる場合があります。このような場合にはバッテリーを取り外し、再度セットして充電を再開してください。

- チャージャーを使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- チャージャーの端子をショートさせないでください。発熱、破損の原因となります。



メモリーカード取り扱い上のご注意

- カメラの使用後は、メモリーカードが熱くなっていることがあります。取り出しの際はご注意ください。
- メモリーカードの初期化中や画像の記録または削除中、パソコンとの通信時などには、次の操作をしないでください。記録されているデータの破損やメモリーカードの故障の原因となります。
 - メモリーカードの着脱をしないでください
 - カメラの電源をOFFにしないでください

- バッテリーを取り出さないでください
- ACアダプターを抜かないでください
- 端子部に手や金属で触れないでください。
- 無理な力を加えないでください。破損のおそれがあります。
- 曲げたり、落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 熱、水分、直射日光を避けてください。
- パソコンで初期化しないでください。

故障かな？と思ったら

カメラの動作がおかしいときは、ご購入店やニコンサービス機関にお問い合わせになる前に、次の項目をご確認ください。

電源・表示関連

● 電源ONの状態で、カメラを操作できない

- 画像や動画の記録などの処理が終わるまでお待ちください。
- 操作できない状態が続くときは、電源をOFFにする操作をしてください。
電源がOFFにならない場合は、バッテリーを入れ直してください。
ACアダプター使用時は付け直してください。
 - 記録中であったデータは保存されません。
 - 保存済みのデータはバッテリーやACアダプターの取り外しでは失われません。

● 液晶モニターまたは電子ビューファインダーに何も表示されない

- 電源が入っていません (□25)。
- バッテリー残量がありません (□4、20)。
- 別売の電子ビューファインダー装着時に、指などを電子ビューファインダーに近づけているため、アイセンサーが反応して、液晶モニターが消灯しています (□29)。
- 節電機能により待機状態になっています (オートパワーオフ)。シャッターボタンなどを操作してください。
- カメラとパソコン、またはカメラとテレビを接続しています (□105)。

● 電子ビューファインダー内がはっきり見えない

電子ビューファインダーの視度調節ダイヤルで調節してください (□29)。

● カメラの電源が突然切れる

- バッテリー残量がありません (□4、20)。
- 節電機能により待機状態になっています (オートパワーオフ)。シャッターボタンなどを操作してください。
- カメラの内部が高温になっています。温度が下がるまで、しばらく放置してから電源を入れ直してください (□xvi、122)。

● 液晶モニターに撮影情報や画像情報が表示されない

DISPボタンを押すと、撮影時または再生時に液晶モニターに表示される内容を切り換えられます (□5)。



撮影関連（全モード共通）

● 電源をONしてから、撮影できる状態になるまでに時間がかかる

メモリーカード内にフォルダーや画像が大量にあるときは、ファイル検索のため時間がかかる場合があります。

● シャッターがきれない

- バッテリー残量がありません（□4、20）。
 - 残量のあるメモリーカードが入っていますか？（□25）
 - フラッシュの充電中はシャッターがきれません（□84）。
 - 被写体にピントが合っていません（□33）。
 - スローモーション動画撮影中は、シャッターボタンを全押ししても、静止画は撮影できません（□53）。
-

● 連続撮影できない

連続撮影速度（□76）が□のときにフラッシュを使用した場合は、**[S]**（単写）として動作します。

● リモコンML-L3の送信ボタンを押しても撮影できない

- リモコンの電池残量はありますか？（□109）
 - リモコンモードに設定されていますか？（□80）
 - 送信ボタンを押す前に**[リモコン待機時間]**を過ぎると、リモコンモードはリセットされます（□101）。
 - リモコン送信部をカメラのリモコン受光部に向け、リモコンの送信ボタンを押してください。そのとき、カメラのリモコン受光部が見えていることを確認してください（□2、80）。
 - リモコンとカメラとの距離が離れすぎています（□80）。
 - 極端な逆光状態などでは、リモコン撮影ができない場合があります。
-

● 画像にゴミが写りこむ

レンズの前面または背面（マウント側）が汚れていませんか？

● 撮影時の画面や動画にちらつきや横縞が生じる

[フリッカー低減]の設定を、カメラをお使いになる地域の電源周波数に合わせてください（□56）。



● フラッシュが発光しない

次の場合はフラッシュ撮影できません。

- オートモードでライブコントロール (□38) を設定している場合
- クリエイティブモードが [クリエイティブリング] (□42)、[HDR] (□43)、[かんたんパノラマ] (□44) の場合
- ベストモーメントキャプチャーモード、モーションスナップショットモード、アドバンスト動画モード、および動画撮影時
- 連続撮影速度 (□76) が 10、20、30、60 の場合
- ISO感度が [6400 (NR)] または [12800 (NR)] (□101) の場合

● 選択または設定できないメニュー項目がある

撮影モードや露出モードによっては、設定できない機能があります。この場合、その項目は選択できません。

動画撮影関連

● 動画を撮影できない

ベストモーメントキャプチャーモードとモーションスナップショットモードでは、動画撮影ボタンを押しても、動画撮影できません (□65、74)。

● 動画に音声記録されない

- [動画音声の設定] の [録音設定] が [録音しない] になっていませんか? (□100)
- アドバンスト動画モードが [スローモーション]、[早送り動画]、[ジャンプカット] の場合、音声は記録されません (□52)。
- [音声] が [なし] の場合、モーションスナップショット画像には音声は記録されません (□74)。

タッチ撮影機能関連

● タッチ撮影機能を使用できない

- ベストモーメントキャプチャーモードおよびモーションスナップショットモードのときは、タッチ撮影機能は使用できません。
- 画面の周辺部分をタッチしても撮影やピント合わせはできません。画面の中央寄りの位置をタッチしてください。

● 画像がブレる

タッチしてシャッターをきる場合、撮影シーンによっては画像がブレやすくなることがあります。カメラを両手でしっかりと構えて撮影してください。



再生関連

● 画像の縦位置・横位置が正しく表示されない

- [縦位置自動回転] が [しない] になっていませんか? (□97)
- [縦横位置情報の記録] が [しない] になっていませんか? (□102)
- 撮影直後の画像確認時は、自動回転しません。
- カメラを上向き・下向きにして撮影すると、縦横位置情報が正しく得られない場合があります。

● 動画の音声再生されない

- メインコマンドダイヤルを右に回すと、音量が大きくなります (□55)。
- 音声再生中はスピーカー (□3) を指などでふさがないようにしてください。音声が聞こえにくくなることがあります。
- アドバンスド動画モードが [スローモーション]、[早送り動画]、[ジャンプカット] の場合、音声は記録されません (□52)。
- [音声] が [なし] の場合、モーションスナップショット画像には音声は記録されません (□74)。
- テレビで動画を再生するときは、音量をテレビ側で調節してください。カメラでは音量調節できません。

● 画像を削除できない

画像にプロテクトが設定されていませんか? (□97)

Wi-Fi (無線LAN) 関連

● スマートデバイスにカメラのSSID (ネットワーク名) が表示されない

- カメラのWi-Fi機能が有効になっていることを確認してください (□89)。
- スマートデバイスのWi-Fi機能をOFFにしてからONにし直してみてください。

その他

● 撮影日時が正しく表示されない

カメラの内蔵時計は合っていますか? カメラの内蔵時計は腕時計などの一般的な時計ほど精度は高くないため、定期的に日時設定を行うことをおすすめします。

● 表示されているメニュー項目が選択できない

- メモリーカードをカメラに挿入していないときは、選択できない項目があります。
 - 一部のメニュー項目は、カメラの設定状況によって選択できない場合があります。
-

警告メッセージ

液晶モニターに表示される警告メッセージの意味は次の通りです。

表示	対処方法
(シャッタースピード表示、絞리値表示のいずれかが点滅)	被写体が明るすぎる場合、次の操作を行ってください。 • ISO感度を低くしてください。 • シャッタースピードをより高速側にセットしてください。 • 絞りを絞り込んでください（より大きい数値）。 被写体が暗すぎる場合、次の操作を行ってください。 • ISO感度を高くしてください。 • フラッシュをお使いください。 • シャッタースピードをより低速側にセットしてください。 • 絞りを開いてください（より小さい数値）。
ズームリングボタンを押しながら、ズームリングを回してレンズを繰り出してください。	レンズが収納されています。ズームリングボタンを押しながらズームリングを回して、ロックを解除してください。
レンズの動作不良です。電源OFF後再度実行してください。	電源を一度OFFにしてから、もう一度電源をONにしてください。警告表示が解除されない場合や、頻繁に警告が表示される場合は、ニコンサービス機関にご相談ください。
レンズを確認してください。レンズが装着されていないと撮影できません。	レンズを装着してください。
時計がリセットされました。	日時を設定してください。
メモリーカードが入っていません。	メモリーカードを正しく入れてください。



表示	対処方法
このメモリーカードは壊れている可能性があるため、使用できません。 カードを交換してください。	- このカメラで使用できるメモリーカードであるかどうかを確認してください。 - メモリーカードを初期化し直してください。状況が改善しない場合は、メモリーカードが壊れている可能性があります。ニコンサービス機関にご相談ください。 - 新しいメモリーカードに交換してください。
このメモリーカードは初期化（フォーマット）されていません。 フォーマットしますか？	「はい」を選んで、メモリーカードを初期化してください。 - 電源をOFFにしてから、正しく初期化されたメモリーカードに交換してください。
メモリーカード残量がありません。	- メモリーカードに記録されている画像を削除して、メモリーカードに画像ファイルが保存可能な状態にしてください。必要な画像はパソコンなどに転送してバックアップしてください。 - 新しいメモリーカードに交換してください。
メモリーカードにこれ以上フォルダーを作成できません。	フォルダー番号が999に達しているときにファイル番号が9999に達するか、ファイル数が999個に達すると、それ以上フォルダーを作成できず、シャッターがきれなくなります。この場合は、「 連番リセット 」を行った後、メモリーカードを初期化するか交換してください。
このモードでは動画撮影ボタンを使用できません。	ベストモーメントキャプチャーモードとモーションスナップショットモードでは、動画撮影ボタンは使用できません。
このモードでは静止画の撮影ができません。	スローモーション動画の撮影中は、シャッターボタンを全押ししても、静止画は撮影できません。
カメラ内が高温となったため、電源をOFFにします。	カメラ内部の温度が下がるまで、撮影を一時休止してください。
撮影画像がありません。	画像が記録されているメモリーカードを入れてください。
このファイルは表示できません。	- パソコンで編集した画像など、DCF規格の画像ファイルではないため、再生できません。 - 画像ファイルに異常があるため再生できません。

主な仕様

ニコンデジタルカメラNikon 1 V3

型式

型式	レンズ交換式デジタルカメラ
レンズマウント	ニコン1マウント
実撮影画角	レンズの焦点距離の約2.7倍に相当（35mm判換算）

有効画素数

有効画素数	1839万画素
-------	---------

撮像素子

方式	13.2×8.8mmサイズCMOSセンサー、ニコンCXフォーマット
ダスト低減機能	イメージセンサークリーニング

記録形式

記録画素数	● 静止画（オートモード、クリエイティブモード（[かんたんパノラマ] 以外）、P、S、A、Mモード、ベストモーメントキャプチャーモード）※1 - 5232×3488ピクセル - 2608×1744ピクセル - 3920×2616ピクセル ● 静止画（クリエイティブモード [かんたんパノラマ]） - 4800×920ピクセル （パノラマ標準：水平移動時）※2 - 1536×4800ピクセル （パノラマ標準：垂直移動時）※3 - 9600×920ピクセル （パノラマワイド：水平移動時）※4 - 1536×9600ピクセル （パノラマワイド：垂直移動時）※5 ● 静止画（動画撮影時）※1 - 5232×3488ピクセル（1080/60p、1080/30p） - 1472×984ピクセル（720/60p、720/30p） ● 静止画（モーションスナップショットモード）※6 - 5232×2936ピクセル
	※1 アスペクト比は3：2 ※4 アスペクト比は240：23 ※2 アスペクト比は120：23 ※5 アスペクト比は4：25 ※3 アスペクト比は8：25 ※6 アスペクト比は16：9



記録形式

画質モード	- RAW 12ビット（圧縮） - JPEG-Baseline準拠、圧縮率（約）：FINE（1/4）、NORMAL（1/8） - RAWとJPEGの同時記録可能
ピクチャーコントロールシステム	スタンダード、ニュートラル、ビビッド、モノクローム、ポートレート、風景、いずれも調整可能、カスタムピクチャーコントロール登録可能
記録媒体	microSDメモリーカード、microSDHCメモリーカード、microSDXCメモリーカード
対応規格	DCF 2.0、DPOF、Exif 2.3、PictBridge

撮影モード

撮影モード	：オートモード、：クリエイティブモード ：クリエイティブリング、：HDR、：かんたんパノラマ、：ソフト、：ミニチュア効果、：セレクトカラー、：クロスポロセス、：トイカメラ風、：P：プログラムオート（プログラムシフト可能）、：S：シャッター優先オート、：A：絞り優先オート、：M：マニュアル、：：ベストモーメントキャプチャーモード（：お気に入りフォト選択、：スロービュー、：スマートフォトセレクト）、：：アドバンスド動画モード（：HD動画、：スローモーション、：ジャンプカット、：早送り動画、：4秒動画）、：：モーションスナップショットモード
-------	--

シャッター

シャッター方式	電子制御上下走行式フォーカルプレーンシャッター、エレクトロニックシャッター
シャッタースピード	- メカニカルシャッター使用時：1/4000～30秒（1/3ステップ）、Bulb、Time（別売のリモコンML-L3使用） - エレクトロニックシャッター使用時：1/16000～30秒（1/3ステップ）、Bulb、Time（別売のリモコンML-L3使用） ※ バルブ撮影またはタイム撮影時には、シャッターは開いてから約2分経つと自動的に閉じます。
フラッシュ同調シャッタースピード	- メカニカルシャッター使用時：X=1/250秒以下の低速シャッタースピードで同調 - エレクトロニックシャッター使用時：X=1/60 秒以下の低速シャッタースピードで同調

レリーズ機能

レリーズモード	• 単写、連写 • セルフタイマー • リモコン撮影 • インターバルタイマー撮影
連続撮影速度	約6コマ/秒、約10コマ/秒、約20コマ/秒、 約30コマ/秒、約60コマ/秒
セルフタイマー	作動時間：2秒、10秒
リモコンモード	2秒リモコン、瞬時リモコン

露出制御

測光方式	撮像素子によるTTL測光方式
測光モード	• マルチパターン測光 • 中央部重点測光：φ4.5mm相当を測光 • スポット測光：φ2mm相当を測光、AFエリアに連動して測光位置可動
露出モード	P：マルチプログラムオート（プログラムシフト可能）、 S：シャッター優先オート、A：絞り優先オート、 M：マニュアル、  ：おまかせシーン（シーン自動判別）
露出補正	範囲：±3段、補正ステップ：1/3ステップ
AEロック	AE-L（AE/AFロック）ボタンによる輝度値ロック方式
ISO感度 （推奨露光指数）	• ISO 160～12800（200以上は1段ステップ）、6400（NR）、12800（NR）選択可能 • 感度制限オート（160～6400、160～3200、160～800） • P、S、A、Mモードまたは[露出モード]が[P プログラムオート]、[S シャッター優先オート]、[A 絞り優先オート]または[M マニュアル]時に設定可能
アクティブ D-ライティング	する、しない

オートフォーカス

方式	ハイブリッドAF（位相差AF/コントラストAF）、AF補助光付
レンズサーボ	• オートフォーカス（AF）：シングルAF（AF-S）、コンティニュアスAF（AF-C）、AF自動切り換え（AF-A）、常時AF（AF-F） • マニュアルフォーカス（MF）
AFエリアモード	シングルポイント、オートエリア、ターゲット追尾



オートフォーカス

AFエリア	• シングルポイント：171点のAFエリア（中央部105点は位相差AF） • オートエリア：41点のAFエリア
フォーカスロック	AF-L (AE/AFロック) ボタン、またはシングルAF (AF-S) 時にシャッターボタン半押し
顔認識	する、しない

フラッシュ

内蔵フラッシュ	フラッシュボタン操作による手動ポップアップ方式 ガイドナンバー：約5 (ISO 100・m) / 約6.3 (ISO160・m)、20℃の場合
調光方式	撮像素子によるi-TTL調光制御
フラッシュモード	通常発光、赤目軽減発光、通常発光＋スロー、赤目軽減発光＋スロー、後幕発光＋スロー、後幕発光
調光補正	範囲：-3～+1段、補正ステップ：1/3ステップ
レディーライト	内蔵フラッシュ、別売スピードライト使用時に充電完了で点灯

ホワイトバランス

ホワイトバランス	オート、電球、蛍光灯、晴天、フラッシュ、曇天、晴天日陰、プリセットマニュアル、プリセットマニュアル以外はいずれも微調整可能
----------	---

動画機能

測光方式	撮像素子によるTTL測光方式
測光モード	• マルチパターン測光 • 中央部重点測光：φ4.5mm相当を測光 • スポット測光：φ2 mm相当を測光、AFエリアに連動して測光位置可動



動画機能

記録画素数/ 記録レート	• HD動画※1 - 1920×1080ピクセル (60p (59.94fps)) - 1920×1080ピクセル (30p (29.97fps)) - 1280×720ピクセル (60p (59.94fps)) - 1280×720ピクセル (30p (29.97fps)) • スローモーション動画 - 1280 × 720 ピクセル (記録：120 fps、再生：30p (29.97fps)) ※1 - 768 × 288 ピクセル (記録：400fps、再生：30p (29.97fps)) ※2 - 416 × 144 ピクセル (記録：1200fps、再生：30p (29.97fps)) ※3 • 早送り動画、ジャンプカット動画、4秒動画※1 - 1920×1080ピクセル (30p (29.97fps)) • モーションスナップショットモードで撮影した動画※1 - 1920×1080ピクセル (記録：60p (59.94fps)、再生：24p (23.976fps)) ※1 アスペクト比 (横：縦) は16：9 ※2 アスペクト比 (横：縦) は8：3 ※3 アスペクト比 (横：縦) は26：9
ファイル形式	MOV
映像圧縮方式	H.264/MPEG-4 AVC
音声記録方式	PCM
録音装置	内蔵ステレオマイク、別売のステレオマイクロホン ME-1使用可能 (ステレオ録音)、マイク感度設定可能



画像モニター

画像モニター	チルト式3型TFT液晶モニター (タッチパネル)、約104万ドット、明るさ調整可能、角度調整可能
--------	--

再生機能

再生機能	1コマ再生、サムネイル再生 (4、9、16分割またはカレンダーモード)、拡大再生、動画再生、パノラマ再生、スライドショー、ヒストグラム表示、撮影画像の縦位置自動回転、レーティング
------	---

インターフェース

USB	Hi-Speed USB
HDMI出力	HDMI端子 (Type D) 装備

インターフェース

マルチアクセサリポート	専用アクセサリ装備
外部マイク入力	ステレオミニジャック（φ3.5mm）

Wi-Fi（無線LAN）

準拠規格	IEEE802.11b、IEEE802.11g
伝送方式	• IEEE802.11b：DSSS/CCK • IEEE802.11g：OFDM
周波数範囲 （中心周波数）	2412～2462 MHz（1～11ch）
通信距離（見通し）	約10 m 電波干渉が無い場合。通信距離は遮蔽物や電波状態などにより影響されます。
データ転送速度 （規格値）	54 Mbps 表示の数値は、規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。
セキュリティ	認証方式：オープンシステム、WPA2-PSK 暗号方式：AES
無線設定	WPS対応
アクセス方式	インフラストラクチャーモード

表示言語

表示言語	日本語、英語
------	--------

電源

使用電池	Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL20a（1個使用）
ACアダプター	ACアダプター EH-5b（パワーコネクター EP-5Cと組み合わせて使用）（別売）

三脚ネジ穴

三脚ネジ穴	1/4（ISO 1222）
-------	---------------

寸法・質量

寸法（W×H×D）	約110.9×65×33.2 mm（突起部を含まず）
質量	約324 g（バッテリーおよびmicroSDメモリーカードを含む、ボディーキャップを除く） 約282 g（本体のみ）



動作環境

温度	0℃～40℃
湿度	85%以下（結露しないこと）

- 仕様中のデータは特に記載のある場合を除き、CIPA（カメラ映像機器工業会）規格またはガイドラインに準拠しています。
- 仕様中のデータは、フル充電バッテリー使用時のものです。



バッテリーチャージャー MH-29

電源	AC 100-240 V、50-60 Hz、0.2A
定格入力容量	13-21 VA
充電出力	DC 8.4 V、0.6 A
適応電池	Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL20a
充電時間	約3時間 ※残量のない状態からの充電時間（周囲温度25℃）
使用温度	0℃～40℃
寸法（W×H×D）	約67.0×28.0×94.0 mm（突起部除く）
質量	約83 g

製品に表示されている記号の意味は下記の通りです。

～ AC（交流）、= DC（直流）、 クラスⅡ機器（二重絶縁構造）

Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL20a

形式	リチウムイオン充電電池
定格容量	7.2 V、1110 mAh
使用温度	0℃～40℃
寸法（W×H×D）	約30.7×50.0×14.0 mm
質量	約42 g（端子カバーを除く）

レンズ 1 NIKKOR VR 10-30mm f/3.5-5.6 PD-ZOOM

型式	1マウントレンズ
焦点距離	10 mm-30 mm
最大口径比	1 : 3.5-5.6
レンズ構成	7群9枚（非球面レンズ4枚、EDレンズ1枚、高屈折率レンズ使用）
画角	77°-29°40′
手ブレ補正	ボイスコイルモーター（VCM）によるレンズシフト方式
最短撮影距離	撮像面から0.2 m（ズーム全域）
絞り羽根枚数	7枚（円形絞り）
絞り方式	自動絞り
絞りの範囲	• 焦点距離10 mm時：f/3.5-16 • 焦点距離30 mm時：f/5.6-16
寸法	約58 mm（最大径）×28 mm（レンズマウント基準面からレンズ先端まで、沈胴時）
質量	約85 g

レンズ 1 NIKKOR 11-27.5mm f/3.5-5.6

型式	1マウントレンズ
焦点距離	11 mm-27.5 mm
最大口径比	1 : 3.5-5.6
レンズ構成	6群8枚 (EDレンズ1枚、非球面レンズ1枚)、他保護ガラス1枚
画角	72°- 32° 20'
最短撮影距離	撮像面から0.3 m (ズーム全域)
絞り羽根枚数	7枚 (円形絞り)
絞り方式	自動絞り
絞りの範囲	• 焦点距離 11 mm時 : f/3.5-16 • 焦点距離 27.5 mm時 : f/5.6-16
アタッチメントサイズ	40.5 mm (P=0.5 mm)
寸法	約57.5 mm (最大径) × 31 mm (レンズマウント基準面からレンズ先端まで、沈胴時)
質量	約83 g

電子ビューファインダー DF-N1000

電子ビューファインダー	カラー液晶ビューファインダー、0.48型TFT液晶、約236万ドット、視度調節機能付き、明るさ調整可能
視野率	上下左右とも約100% (対実画面)
アイポイント	保護ガラスから16 mm (-1.0 m ⁻¹ のとき)
視度調節範囲	-3~+1m ⁻¹
アイセンサー	ファインダー使用検出時、電子ビューファインダー表示に自動切り換え
使用温度	0℃~40℃
寸法 (W×H×D)	約32.5×33.7×40.8 mm (突起部除く)
質量	約26 g (端子カバーを除く)

グリップ GR-N1010

使用温度	0℃~40℃
寸法 (W×H×D)	約119.2×76.6×48.8 mm (突起部除く)
質量	約63 g (接点端子キャップを除く)

- 製品の外観・仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- 使用説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。



電池寿命について

電池寿命は、次の通りです。

- 静止画撮影時：約310コマ※1
- 動画撮影時：約75分※2

※1 電池寿命測定方法を定めた CIPA（カメラ映像機器工業会）規格によるものです。測定条件は次の通りです。

- 30秒ごとに1回撮影
- 2回に1度、内蔵フラッシュを発光する
- 10回に1度、電源をON/OFFする。

※2 電池寿命測定方法を定めた CIPA（カメラ映像機器工業会）規格による実撮影電池寿命です。

- 1回の動画撮影で記録可能な最長時間は10分（1080/60p）です。
- 1つの動画ファイルで記録可能な最大ファイルサイズは4GBです。
- カメラが熱くなった場合、連続撮影時間内でも動画撮影が終了することがあります。

- メモリーカードはSandisk社製 16GBのmicroSDHC UHS-Iカード（SDSDQXP-016G-J35）を使用
- 装着レンズは1 NIKKOR VR 10-30mm f/3.5-5.6 PD-ZOOM
- フル充電したバッテリー（EN-EL20a）を使用
- 温度23℃（±2℃）
- カメラは初期設定状態

バッテリーの充電状態、撮影間隔やメニュー画面からの設定条件などの使用環境によって、電池寿命が異なります。



次の場合はバッテリーの消耗が早くなります。

- シャッターボタンの半押しを続けた場合
- オートフォーカスのレンズ駆動を繰り返し行った場合
- 画質モードをRAWに設定して撮影した場合
- 低速シャッタースピードで撮影した場合
- Wi-Fi（無線LAN）機能を使用した場合
- 電子ビューファインダー、グリップ、GPSユニット、スピードライトを使用した場合
- VRレンズ使用時にVR（手ブレ補正）機能をONにした場合
- パワースームレンズ使用時にズーム動作を繰り返した場合

Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL20aの性能を最大限に発揮させるため、次のことに注意してください。

- バッテリーの端子を汚さないでください。端子が汚れていると、十分な性能が発揮できません。
- 充電が完了したバッテリーは、なるべく早いうちにお使いください。使用しないまま放置していると、自己放電によって、バッテリー残量が減ってしまいます。

商標説明

- PictBridgeロゴは商標です。
- microSDロゴ、microSDHCロゴ、およびmicroSDXCロゴは、SD-3C, LLC.の商標です。
- Microsoft、WindowsおよびWindows Vistaは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- MacおよびOS Xは米国およびその他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。

HDMI

- Wi-FiおよびWi-Fiロゴは、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

FreeType License (FreeType2)

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、© 2012 The FreeType Project (<http://www.freetype.org>) のものです。すべての権利はその所有者に帰属します。

MIT License (HarfBuzz)

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、© 2014 The HarfBuzz Project (<http://www.freedesktop.org/wiki/Software/HarfBuzz>) のものです。すべての権利はその所有者に帰属します。



索引

マーク・英数字

 (オートモード).....7, 32
 (クリエイティブモード)7, 40
 (ベストモーメントキャプチャーモード).....7, 63
 (アドバンスド動画モード).....7, 49, 52
 (モーションスナップショットモード).....7, 72
P (プログラムオート).....58
S (シャッター優先オート)59
A (絞り優先オート).....60
M (マニュアル).....61
 (クリエイティブブリング)41, 42
 (HDR).....41, 43
 (かんたんパノラマ).....41, 44
 (ソフト)41
 (ミニチュア効果).....41
 (セレクトカラー)41, 47
 (クロスプロセス).....41, 48
 (トイカメラ風).....41
 (ポートレート).....35
 (風景).....35
 (夜景ポートレート)35
 (クローズアップ).....35
 (夜景).....35
 (オート).....35
 (プログラムシフト).....58
MENU (メニュー) ボタン.....8, 97
 (再生) ボタン.....36, 70, 75
 (削除) ボタン.....37, 55, 71, 75
 (OK) ボタン9
DISP (表示切り換え) ボタン5

 (フィーチャー).....10
 (連写/セルフタイマー). 76, 78, 80
 (セルフタイマー)78
 (リモコン).....80
 (赤目軽減発光).....83
SLOW (スローシャッター).....83
REAR (後幕発光).....83
 (レディーライト).....84
1コマ表示.....36
4秒動画.....52
ACアダプター.....108
AFエリア.....33
Fnボタンの機能.....11
FT1.....108
HDR.....41, 43
HD動画.....52
H.264.....127
Li-ionリチャージャブルバッテリー.....20, 21
microSDカード.....22, 110
MOV.....127
Nikon Transfer 2.....106
PINコード.....91
SSID.....92
USBケーブル.....105
ViewNX 2.....103, 107
Wi-Fi送信.....94
Wi-Fi (無線LAN) 機能.....xvii, 88
Wireless Mobile Utility.....88
WPS.....89, 90, 91
WPSプッシュボタン接続.....90

ア

赤目軽減発光 (フラッシュモード).....83

アクセサリ（使用できるアクセサリ）.....	108
アドバンスド動画モード.....	7, 49, 52
後幕発光（フラッシュモード）.....	83
色の選択.....	47
インターバルタイマー撮影.....	99
液晶モニター.....	4, 5, 12
絵づくりのリセット.....	101
絵づくりメニュー.....	101
オートパワーオフ.....	25
オートモード.....	7, 32
お気に入りフォト選択.....	63
音声（モーションスナップショット）.....	74

力

カードの初期化（フォーマット）.....	22
顔認識.....	35, 99
画像をパソコンに取り込む.....	105
かんたんパノラマ.....	44
クリエイティブモード.....	7, 40
クリエイティブリング.....	42
グリップ.....	30, 109
クロスプロセス.....	41, 48
言語（Language）.....	102
格子線の表示.....	35
コマ送り.....	54
コマンドダイヤル.....	36, 55, 58-61

サ

再生メニュー.....	97
先幕発光（フラッシュモード）.....	83
削除.....	37, 55, 71, 75
撮影メニュー.....	98
撮影メニューのリセット.....	98
撮影モード.....	7
色相.....	48

絞り値.....	60, 61
絞り優先オート.....	60
シャッタースピード.....	59, 61
シャッターボタン.....	33
シャッター優先オート.....	59
ジャンプカット.....	52
詳細表示.....	4, 5
使用できるレンズ.....	108
初期化（フォーマット）.....	22
シンプル表示.....	5
推奨microSDカード.....	110
ズームリングボタン.....	24
ストラップ.....	20
スマートデバイス.....	88, 89, 94
スマートフォトセクター.....	68
スローシャッター（フラッシュモード）.....	83
スロービュー.....	66
スローモーション.....	52
接続設定のリセット.....	93
節電機能（オートパワーオフ）.....	25
セットアップのリセット.....	101
セットアップメニュー.....	101
セルフタイマー.....	78
セレクトカラー.....	41, 47
ソフト.....	41

タ

タッチパネル.....	14, 86, 101
チャージャー.....	20, 108, 130
調光範囲.....	85
チルト式液晶モニター.....	3, 12
通常発光（フラッシュモード）.....	83
電子ビューファインダー.....	27, 108
トイカメラ風.....	41
動画.....	49
動画撮影のリセット.....	100
動画撮影ボタン.....	50



動画撮影メニュー.....	100
統合表示.....	6
動作環境.....	104

ナ

内蔵フラッシュ.....	82
日時の設定（地域と日時）.....	26, 102

ハ

パソコン.....	103
バッテリー.....	20, 21, 108, 130
バッテリーをカメラに入れる.....	21
バッテリーを充電する.....	20
早送り動画.....	52
パワーコネクター.....	108
パワードライブズーム.....	34
半押しAEロック.....	102
半押し（シャッターボタン）.....	33
ファームウェアバージョン.....	102
フィーチャーボタン.....	10
フォーマット（カードの初期化）.....	22
フラッシュ.....	82
プログラムオート.....	58
プログラムシフト.....	58
ベストショット.....	63, 68, 70
ベストモーメントキャプチャーモード.....	7, 63
ボディーキャップ.....	1, 2, 110

マ

マウントアダプター.....	108
マニュアル.....	61
マルチアクセサリポート.....	27
ミニチュア効果.....	41
メモリーカード.....	22, 110
メモリーカードの初期化.....	22

モーションスナップショットモード.....	7, 72
-----------------------	-------

ラ

ライブコントロール.....	38
リセット.....	98, 100, 101
リモコン.....	80, 109
リモコン受光部.....	2
リモコン待機時間.....	101
レディーライト.....	84
連写（連続撮影）.....	76
レンズの取り付け.....	23
録画可能残り時間.....	50
露出インジケーター.....	62





ニコンプラザのご案内

ニコンプラザは、ショールーム、サービスセンター、ギャラリーを統合したニコン映像製品の総合情報拠点です。お客さまのデジタルイメージングの世界を拡げ、写真文化の普及、向上に資するよう目指しています。

※ニコンプラザサービスセンターでは持ち込み修理の受け付けも行っています。

ニコンプラザ銀座

〒104-0061 東京都中央区銀座 7-10-1 ストラータ ギンザ 1・2階

営業時間：10:30～18:30（年末年始、2月の第1土曜日とその翌日、8月の第2土曜日とその翌日を除く毎日）

ニコンプラザ新宿

〒163-1528 東京都新宿区西新宿 1-6-1 新宿エルタワー 28階

営業時間：10:30～18:30（年末年始、2月11日・12日、8月の第3日曜日とその翌日を除く毎日）

ニコンプラザ名古屋

〒461-0005 名古屋市東区東桜 1-13-3 NHK名古屋放送センタービル 2階

営業時間：10:30～18:30（日曜日、祝日、年末年始を除く毎日）

ニコンプラザ大阪

〒530-0001 大阪市北区梅田 2-2-2 ヒルトンプラザウエスト・オフィスタワー 13階

営業時間：10:30～18:30（年末年始、2月の第3土曜日とその翌日、8月の第3土曜日とその翌日を除く毎日）



ニコンプラザショールーム（銀座・新宿・名古屋・大阪）ナビダイヤル

0570-02-8080



ニコンプラザサービスセンター（銀座・新宿・名古屋・大阪）ナビダイヤル

0570-02-8060

音声ガイダンスにしたがって、ご利用になるニコンプラザをお選びください。

- ・ナビダイヤルは一般電話からは市内通話料金でご利用いただけます。
- ・ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、ニコンカスタマーサポートセンター (03)6702-0577 におかけください。

補修用性能部品と修理可能期間について

補修用性能部品（機能維持に必要な部品）の保有期間内（製造打ち切り後5年を目安）を、修理可能期間とさせていただきます。なお、部品保有期間の経過後も修理できる場合もありますので、ニコンサービス機関、ご購入店または最寄りの販売店にお問い合わせください。また、水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、保有期間内であっても修理できません。この故障や破損の程度の判定は、ニコンサービス機関にお任せください。

修理サービスのご案内

■修理のご依頼

ニコンサービス機関（修理センター、ニコンプラザサービスセンター）、ご購入店、または最寄りの販売店にご依頼ください。

- 修理センターについては以下で、ニコンプラザサービスセンターについては、前ページでご案内しています。
- 修理に出されるときは、メモリーカードがカメラ内に挿入されていないかご確認ください（内蔵メモリーがあるカメラでは、メモリー内のデータが消去される場合があります）。
- 補修用性能部品と修理可能期間については、前ページをご覧ください。

■修理センター

株式会社ニコンイメージングジャパン修理センター

〒230-0052 横浜市鶴見区生麦2-2-26

営業時間：9：30～18：00（土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏期休業日など弊社定休日を除く毎日）

- 修理センターでは、「ニコンピックアップサービス」などの宅配便のみをお受けします。
- ご来所の方の受付はございません。ご了承ください。



修理センター ナビダイヤル

0570-02-8200

- ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、カスタマーサポートセンター（03）6702-0577 におかけください。

■ニコンピックアップサービス

梱包資材のお届け・修理センターへのお引き取り、修理後のお届け・集金までをニコン指定の配送業者（ヤマト運輸）が一括して代行するサービスです。全国一律の料金にて承ります（大きさや重さには制限があり、取り扱いできない製品もあります）。

<インターネットでのお申込み>

<http://www.nikon-image.com/support/repair/>

「ニコンピックアップサービス」のお申し込み、見積もり金額やインターネットで申し込んだ修理の進捗状況や納期などの確認ができます。

<フリーダイヤルでのお申込み>



ニコンピックアップサービス専用 フリーダイヤル（ヤマト運輸にて承ります）

0120-02-8155

営業時間：9：00～18：00（年末年始 12/29～1/4 を除く毎日）



製品の使い方に関するお問い合わせ

■ニコン カスタマーサポートセンター

営業時間：9：30～18：00（年末年始、夏期休業日等を除く毎日）



ニコン カスタマーサポートセンター ナビダイヤル

0570-02-8000

- ・ナビダイヤルは一般電話からは市内通話料金でご利用いただけます。
- ・ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、(03) 6702-0577 におかけください。
- ・ファクシミリは、(03) 5977-7499 にお送りください。

■お問い合わせ時のお願い

- ・おわかりになる範囲で「製品名」、「製品番号」、「ご購入日」、問題が発生した場合は「症状」、「表示されたメッセージ」、「症状の発生頻度」などをご確認のうえ、お問い合わせください。
- ・ソフトウェアのトラブルは、おわかりになる範囲で「ソフトウェア名およびバージョン」、「パソコンの機種名」、「OS 名およびバージョン」、「CPU 名およびメモリー容量」、「セキュリティソフトウェア名」、「問題発生時の操作手順と症状」、エラーメッセージが表示されていたらメッセージ内容などをご確認のうえ、お問い合わせください。
- ・ファクシミリや郵送でのお問い合わせは、「ご住所」、「お名前（フリガナ）」、「電話番号」、「FAX 番号」を（会社の場合は会社名と部署名も）明確にお書きください。

ニコンイメージング（ウェブサイト）/サポートページ

<http://www.nikon-image.com/support/>

最新の製品テクニカル情報や、ソフトウェアのアップデート情報をご覧ください。
製品をより有効にご利用いただくために、定期的なアクセスをおすすめします。

※修理に関するお問い合わせは、前ページの「修理サービスのご案内」もご参照ください。

株式会社 **ニコン**

株式会社 **ニコン イメージング ジャパン**

Printed in China

SB6C05(10)

6MVA7810-05

© 2014 Nikon Corporation